

[ワーク] 「子どもへのまなざし」について語り合おう

準備

ワーク時間 10分

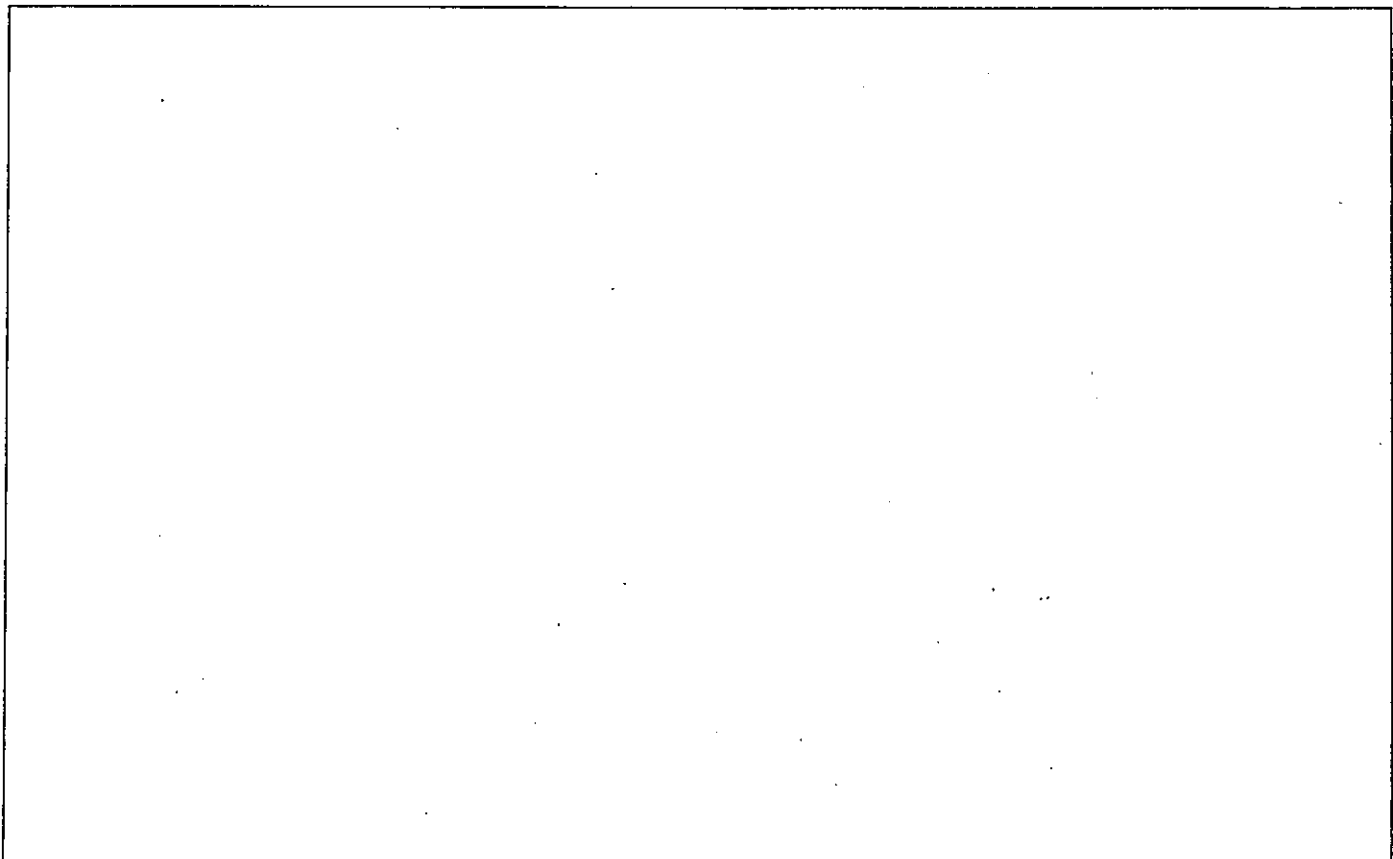
2cm幅の付箋、一人10枚程度

A3用紙 1枚

進め方

- ①次の写真を見て、分かることを付箋に書き出す (3分)
- ②数人でお互いに分かったことをA3用紙に貼り出してシェアする (5分)
- ③たった1枚の写真でも見え方が異なることを確認する (2分)

© 2016 Hoiku-design inst



[ワーク] 子どもの「わがまま」について考えてみよう

準備

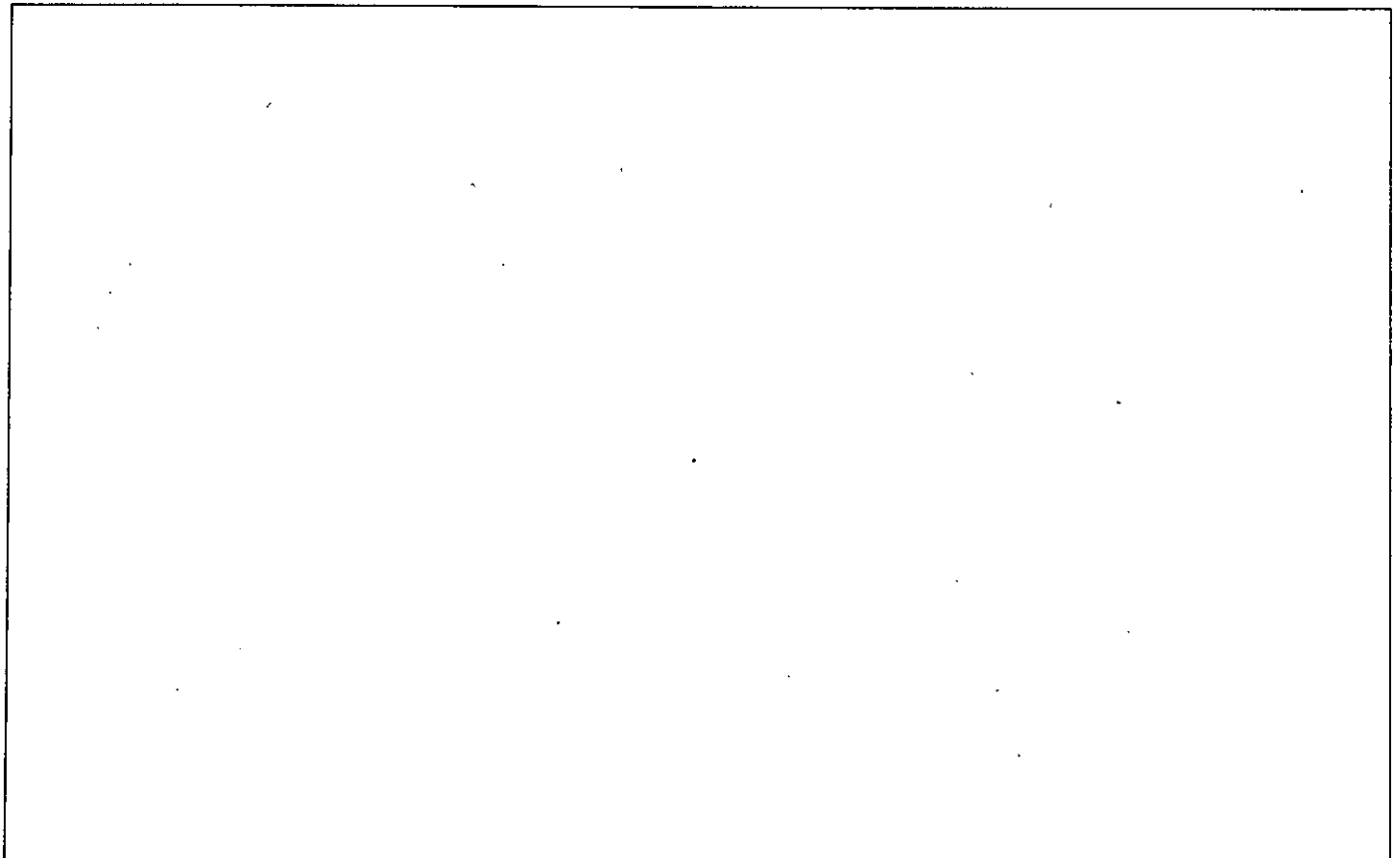
A4用紙 1人1枚

ワーク時間	12分
-------	-----

進め方

- ①保育中に感じた子どもの言葉や行為のなかで、わがままと感じた場面を具体的に書く。(3分)
- ②2人1組になって、Aさんが書いた子どもの様子をBさんは、できる限り子どもの立場に立って、共感的で肯定的な捉え方を言葉にする。ペアを交代する。(3分ずつ)
- ③2人で、気づきについて「子どもにとって」という視点で気付いたことを話し合う(3分)
(全体でシェアして、柔軟で多様な捉え方について考える)

© 2016 Hoiku-design inst



[ワーク] 「子ども同士のトラブル」について語り合おう

準備

ワーク時間	10分
-------	-----

A4用紙1人1枚

進め方

- ①子ども同士のけんかやトラブルのエピソードを、経過と保育者の対応、読み取りについて、具体的にそれぞれわけてA4用紙に書く。(3分)
- ②書いたものを発表し合い、その中で取り上げたいエピソードを選ぶ。(2分)
- ③一つのエピソードについて、皆で、対応と読み取りについての質問、意見交換する。(5分)

※ポジティブな言葉で発言し合うように心掛けましょう。

© 2016 Hoiku-design Inst

[ワーク] 「一人遊び」の中にある学びを発見しよう

ワーク時間 10分

準備

2cm幅の付箋 1人10枚程度

A4用紙 1人1枚

進め方

- ①生活の中で、0 1 2歳児が自発的に楽しんでしている行為を意識して探し、各自A4用紙にできるだけ具体的に書く。(3分)
- ②数人のグループになり、①に書かれたことを読み、その子どもの気持ちになって、感じることを付箋に書き出す。(2分)
- ③付箋に書き出したことを参考に、子どもの行為からどのような学びにつながっているか、話し合う。(5分)

© 2016 Hoiku-design inst

[ワーク]

子どもや保護者との関わりで感動したこと、心に残っていることについて語り合おう

ワーク時間	12分
-------	-----

準備

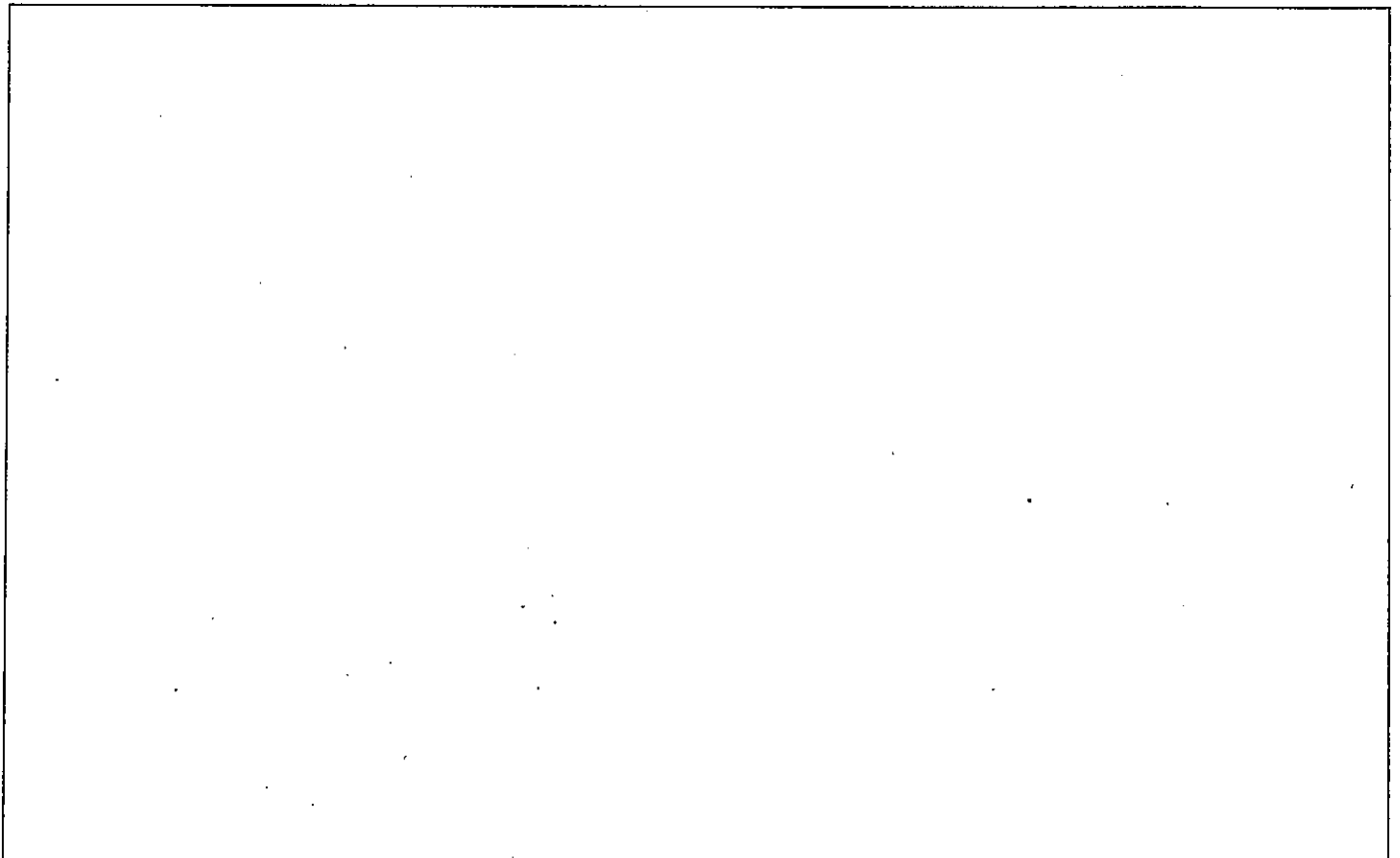
2cm幅の付箋 1人10枚程度

A4用紙 1人1枚

進め方

- ①忘れられない一言、その背景と理由をA4用紙に書く (3分)
- ②それぞれを読み合い、感想や気づきを付箋に書き、A4用紙に貼っていく。(7分)
- ③今後の保護者との関わりに生かせるように、気づきをまとめる。(2分)

© 2016 Haiku-design Inst



[ワーク]

「これからの幼児教育・保育」について語り合おう

目的：「これからの幼児教育・保育」について、感じたこと、考えたことを率直に話し、共に保育をする仲間と語り合う。

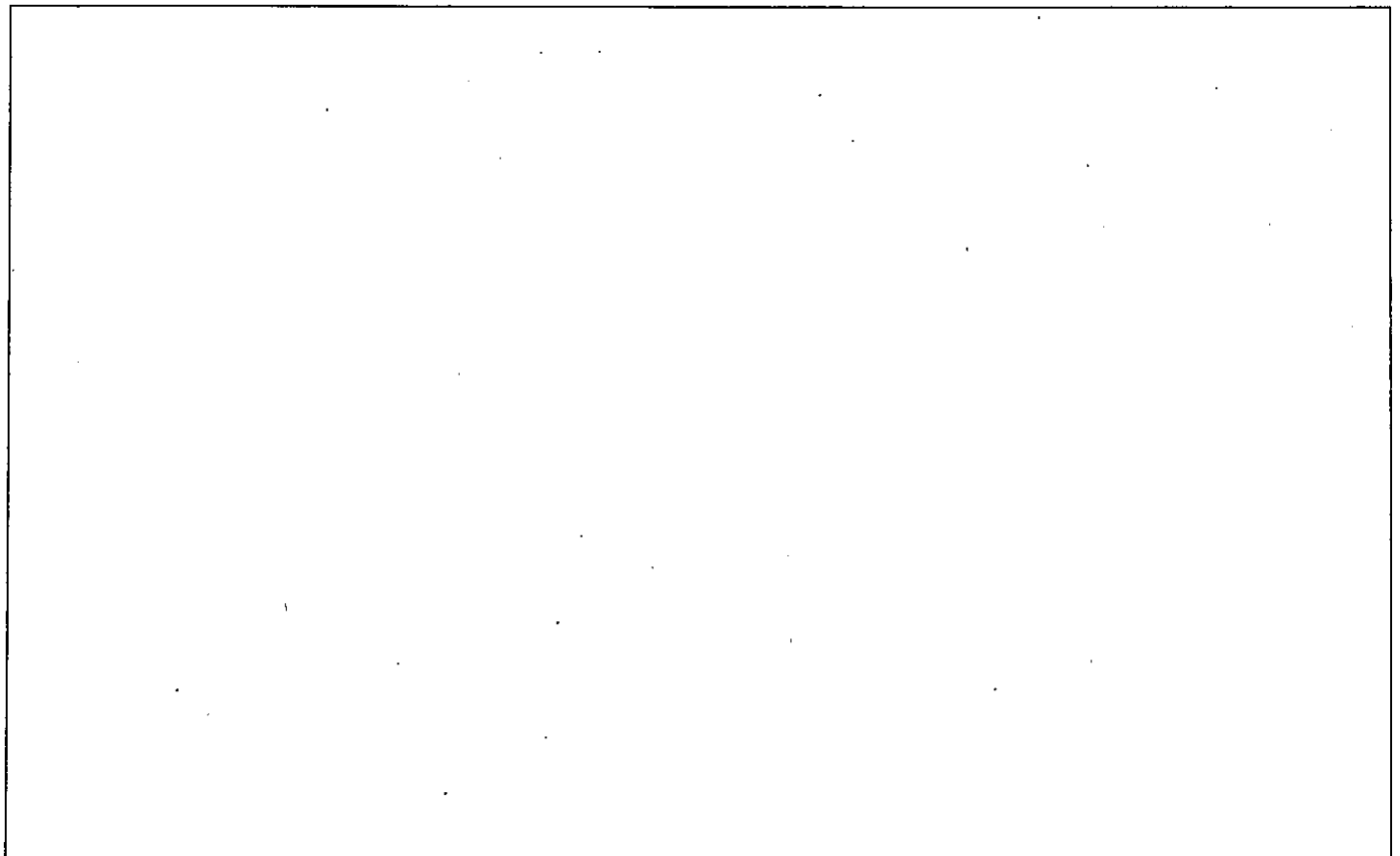
準備：5～6人のグループになる。

進行役を1名決める。

2cm幅の付箋を用意し、1人につき10枚程度を配布する。

各グループにつき、A3用紙1枚（A4用紙2枚でも可）を用意する。

© 2016 Hoiku-design Inst



個人で書き出し	3分
出し合い・語り合い	12分

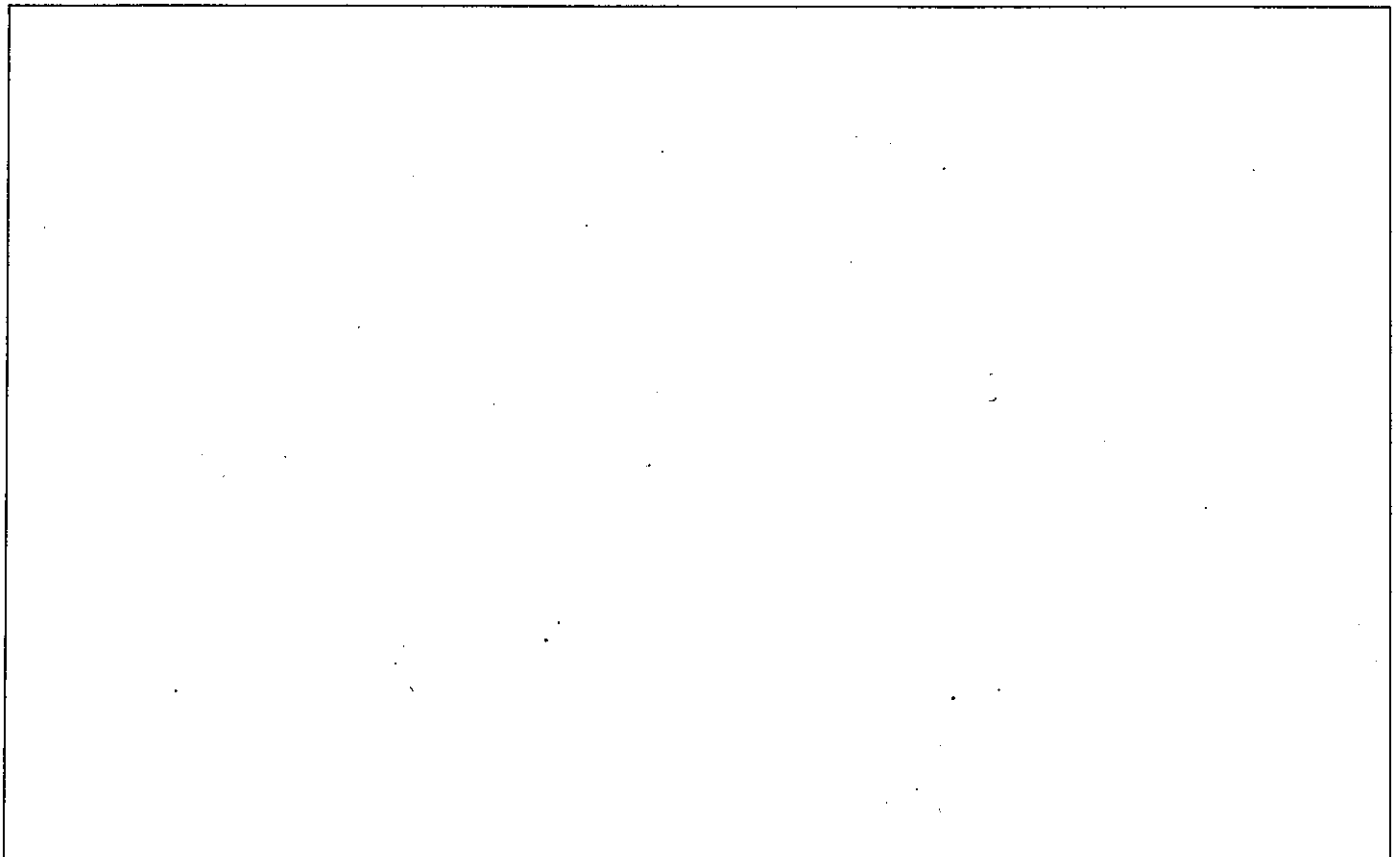
進め方

- ①各自、講義を聴いた感想を付箋に書く。(1枚に1つ)
- ②1人1枚ずつ、A3用紙に付箋を貼りだしながら発表する。
他の発表者と似ているものは、近くに貼る。
- ③進行役のリードで、出された付箋を分類しながら、
みんなで分類ごとにタイトルを付けるなどしてまとめる。
- ④すべてが出そろったら、「これからの幼児教育・保育」
について、みんなで語り合う。

ポイント：一人ひとりの考えを尊重し合う。

進行役は、全員の参加者が話せるように配慮する。

© 2016 Hoiku-design inst



[ワーク]

事例から「資質・能力の3つの柱」について考えよう

目的：1つの事例から「資質・能力の3つの柱」について語り合うことを通して、捉え方、考え方を身につける。

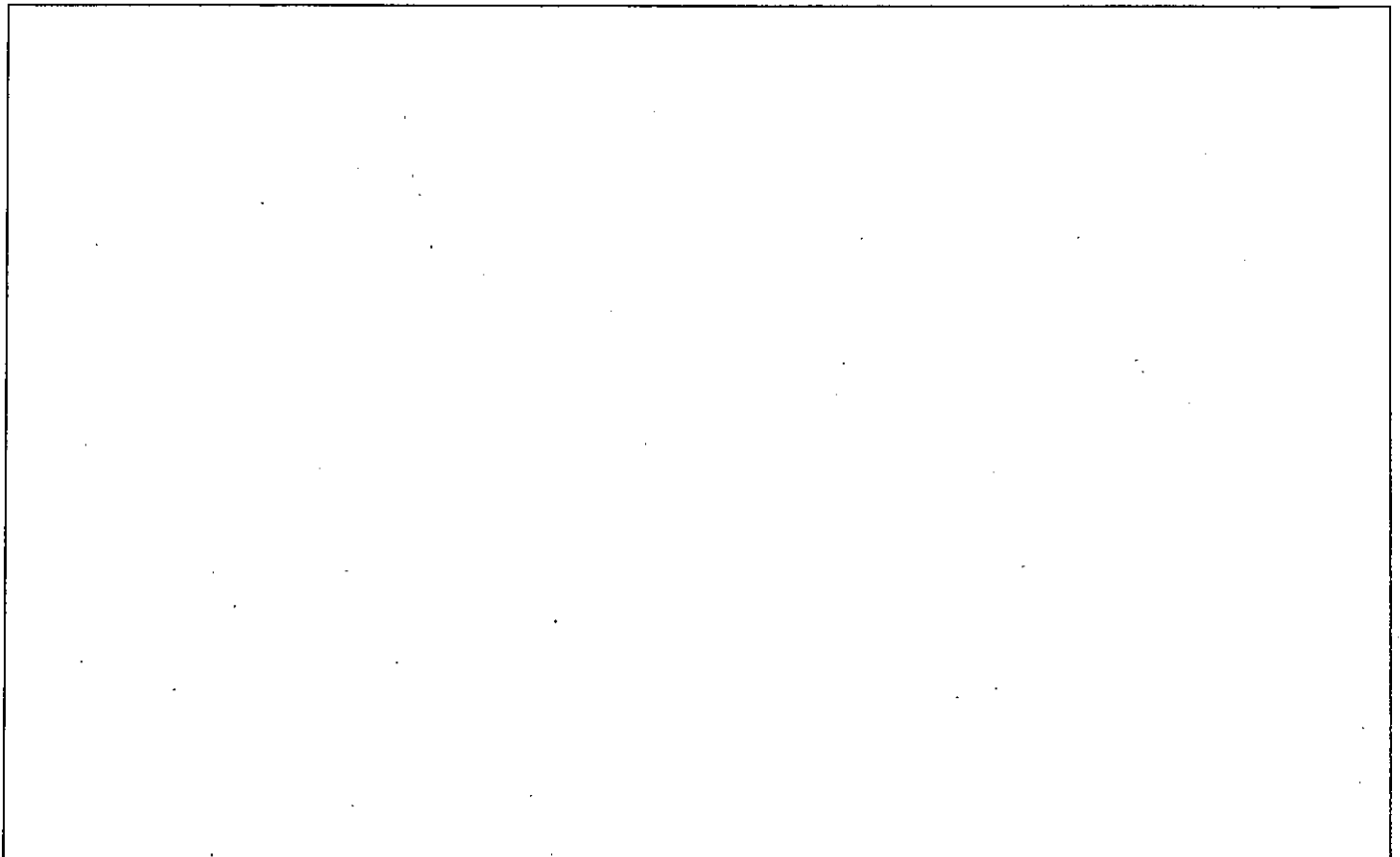
準備：5～6人のグループになる。

進行役を1名決める。

2cm幅の付箋を用意し、1人につき10枚程度を配布する。

各グループにつき、A4用紙3枚を用意する。

© 2016 Heiku design inst



事例：子どもたちが、散歩の途中で
小さな実を見つけました。

個人で書き出し 5分
出し合い・語り合い 10分

進め方

- ①グループ内で、対象となる年齢を決める。
- ②事例から、子どもたちが遊びを通してどのような力を蓄えているのかを想像して付箋に書き出していく。
- ③進行役は、A4用紙に「資質・能力の3つの柱」のそれぞれの項目を書き出しておく。
- ④順番を決め、1人1枚ずつ発表し、みんなで分類を考えながら貼っていく。
- ⑤すべてが出そろったら、感想を語り合う。

ポイント：一人ひとりの考えを尊重し合う。

進行役は、全員の参加者が話せるように配慮する。

© 2016 Heiku design inc.

[ワーク]

「養護と教育の一体的な展開」について語り合おう

目的：日常の保育の中で、養護と教育がどのように一体となっているのかについて考えられるようになる。

準備：5～6人のグループになる。

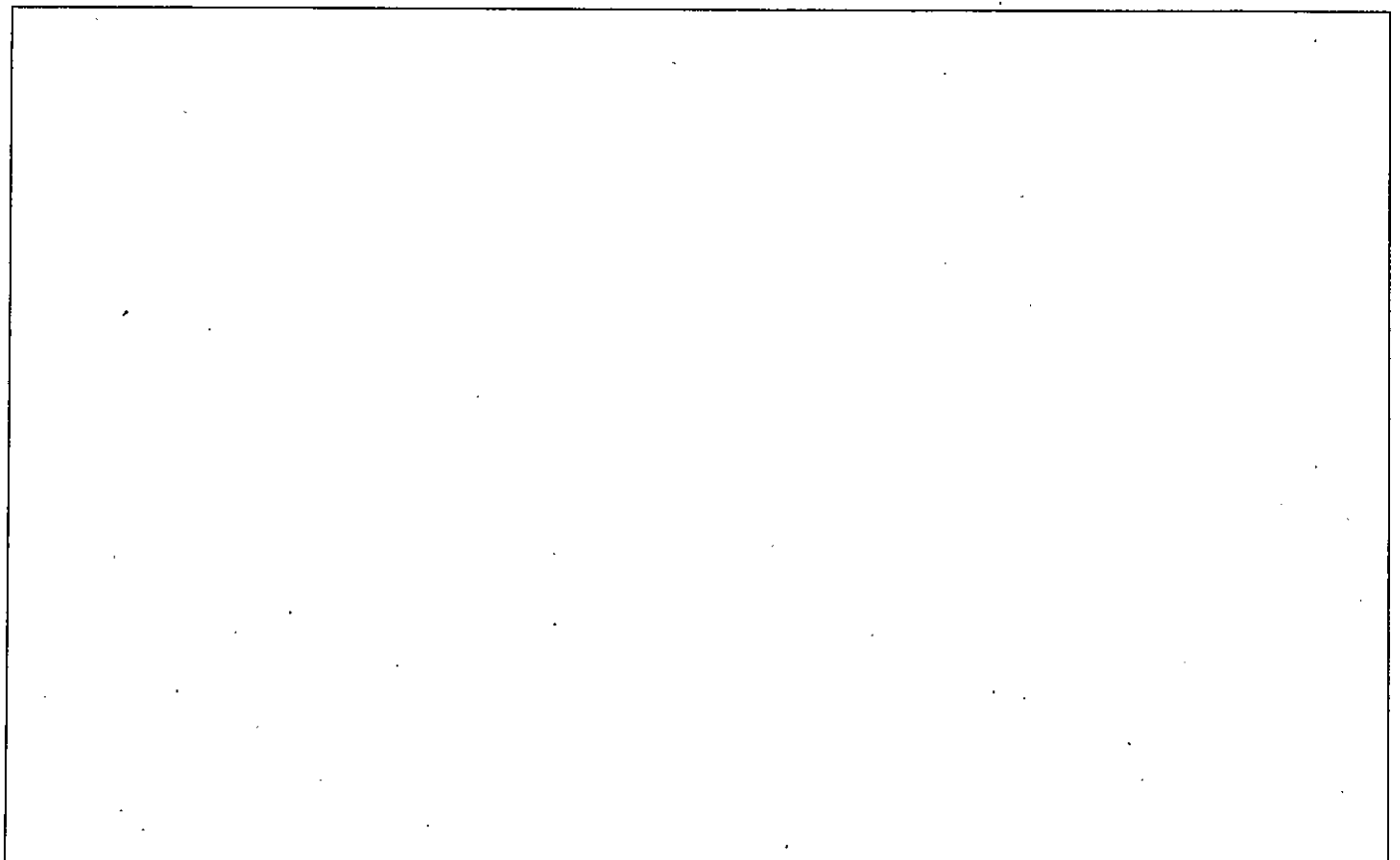
進行役を1名決める。

2cm幅の付箋を用意し、1人につき10枚程度の付箋を配布する。

各グループにつき、A4用紙2枚を用意する。

それぞれに「養護」「教育」と見出しを大きく書いておく。

© 2016 Hoiku-design Inst



事例：広場にて、
子どもたちが走り出し、
追いかけてっごが始まりました。

個人で書き出し 3分
出し合い・語り合い 12分

進め方

- ①グループ内で、対象となる年齢を決める。
- ②事例から、どのように子どもたちを観て、関わり、サポートするかを考え、各自付箋に書き出してみる。（1枚に1つ）
- ③進行役がA4用紙にそれぞれ「養護」「教育」と書いておく。
- ④順番を決め、1人1枚ずつ発表し、みんなで話し合いながら「養護」的な観点と「教育」的な観点到分類して貼っていく。
- ⑤すべてが出そろったら、感想を語り合う。



ポイント：事例について、想像を膨らませて書く。

全員の参加者が話せるように配慮する。

様々な考えがあることを楽しみ、肯定的に話し合う。

© 2016 Ho ku-design inc.

ワーク：子どもの様子を想像してみましょう

このような広場に出かけたら…
クラスの子どもたちに
どのような様子が見られるでしょう。

© 2011 design inst.

目的：それぞれの保育者が想像する子どもの姿を集め、子どもの発達を確認する。

個人で書き出し	5分
出し合い・語り合い	12分

準備：進行役を1名決める。

2cm幅の付箋を用意し、1人につき10枚程度を配布する。

A4用紙（貼り切れなければ増やす）を3枚用意。

それぞれに「乳児」「1歳以上3歳未満児」「3歳以上児」と書いておく。

進め方：①各自、担当する年齢の子どもの姿を想像して、付箋に書き出す。

（1つにつき1枚）

担当するクラスがない場合は、よくかかわる年齢の姿を書き出す。

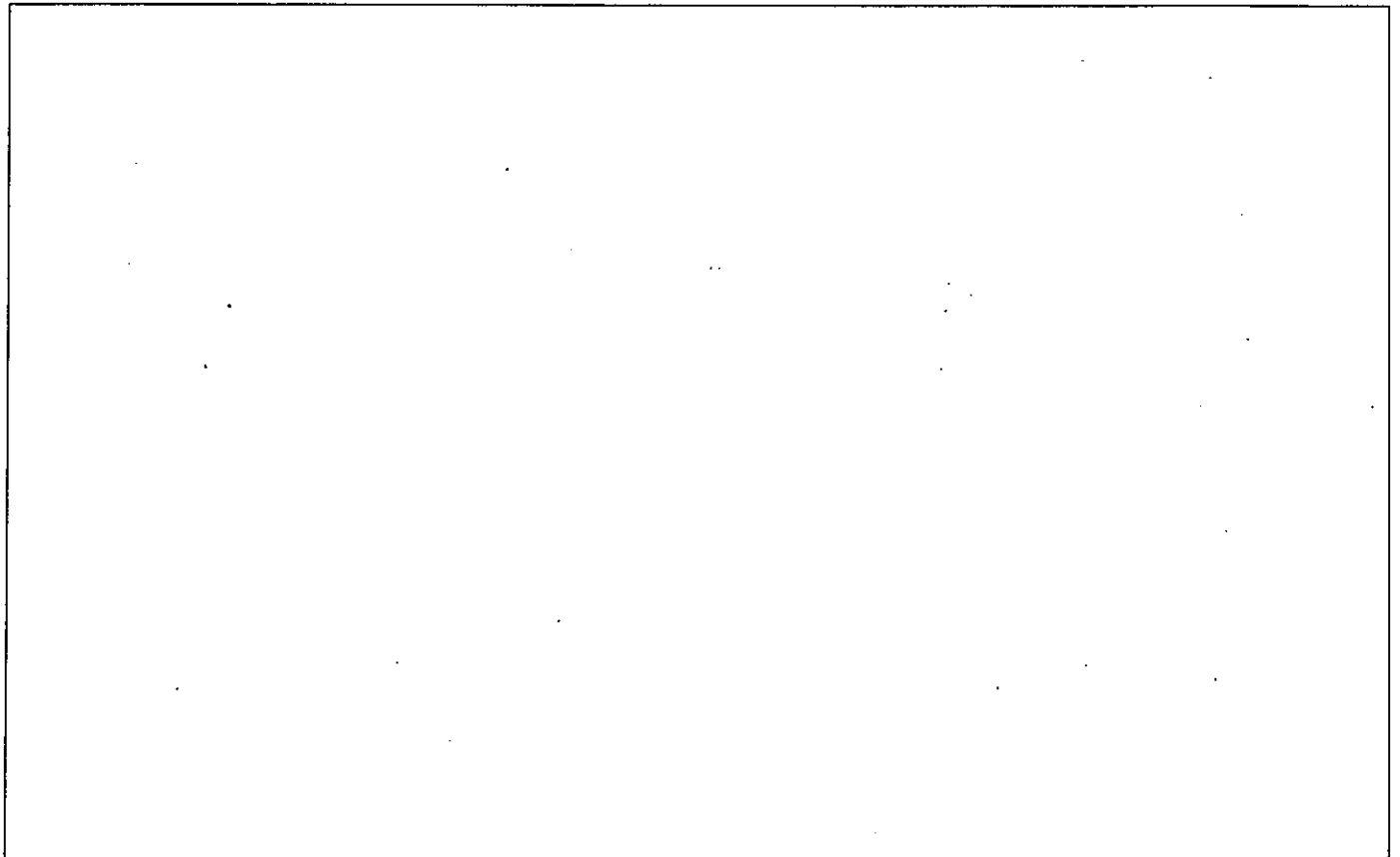
②書き出せたら、A4用紙の各年齢のところに貼り出していく。

他の人の付箋と似ているものがあれば近くに貼る。

③それぞれの年齢の特徴的な様子を捉えてみる。

ポイント：合っているかどうかにとらわれず、「こんなことをしそう」という想像力を膨らませて、自由に書き出す。

© 2016 Hoiku-design inst



ワーク：乳児の日常の姿を 3つの視点でのぞいてみよう

目的：様々な人の意見を聞きながら、子どもたちの姿を改めて3つの視点でのぞいてみる。

準備：5～6人のグループになる。

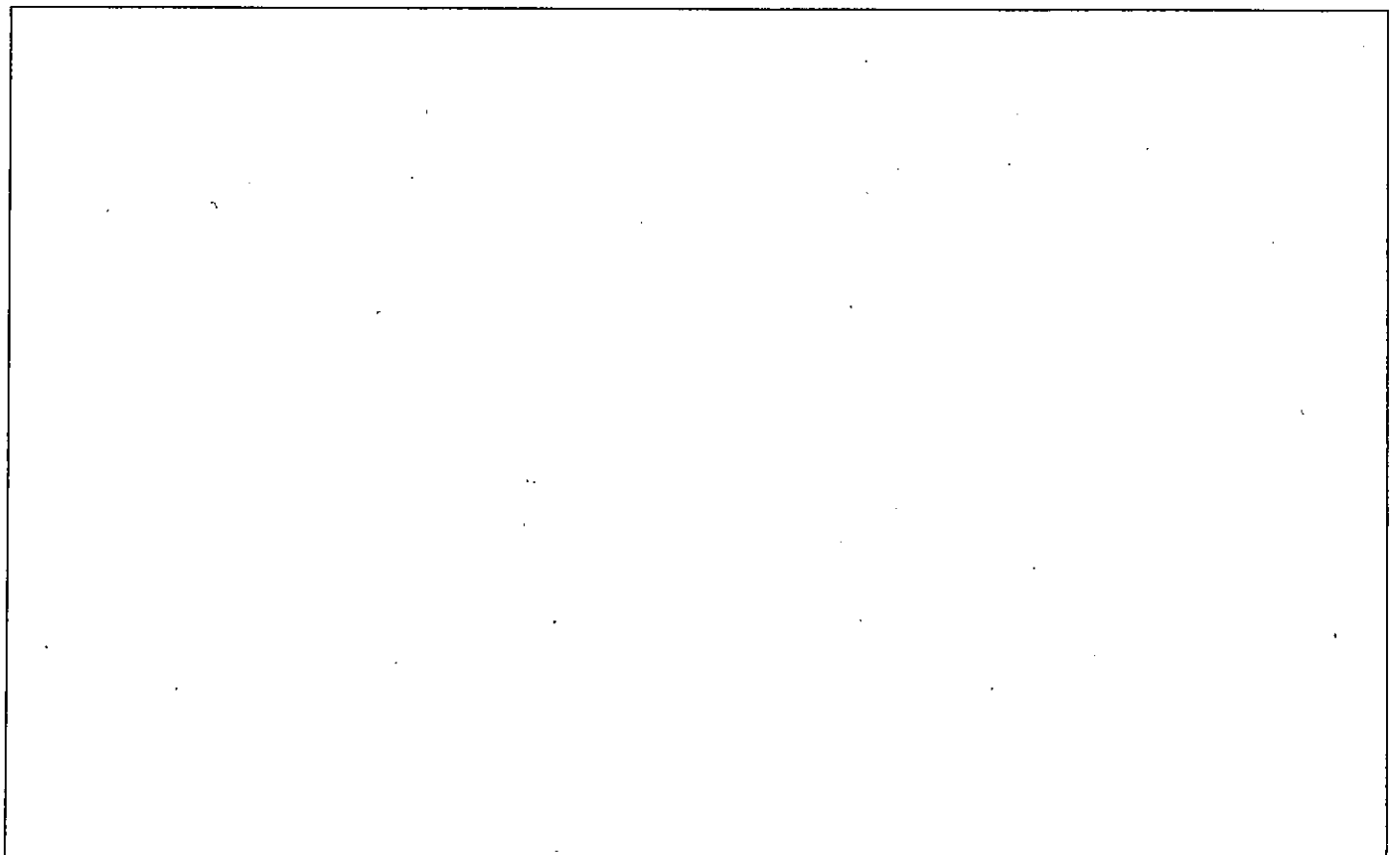
進行役を1人決める。

2cm幅の付箋を用意し、1人につき10枚程度を配布する。

各グループにつき、A3用紙に印刷したワークシートを1枚配布する。

(A3用紙に印刷できない場合は、大きい紙に書くなど、工夫する。)

© 2016 Hoiku-design Inst



進め方

個人で書き出し	3分
出し合い・語り合い	12分

①〇〇を見て笑っている

〇〇が不快で泣いている

〇〇を触ろうとしている等

具体的な乳児の姿を思い出して、付箋に書き出してみる。

②書き出したものを、1人1枚ずつ発表しながら、3視点のどこに当てはまるのかを考えて、貼り出してみる。

いくつもの視点にまたがる場合には、付箋に書き足して貼り出す。

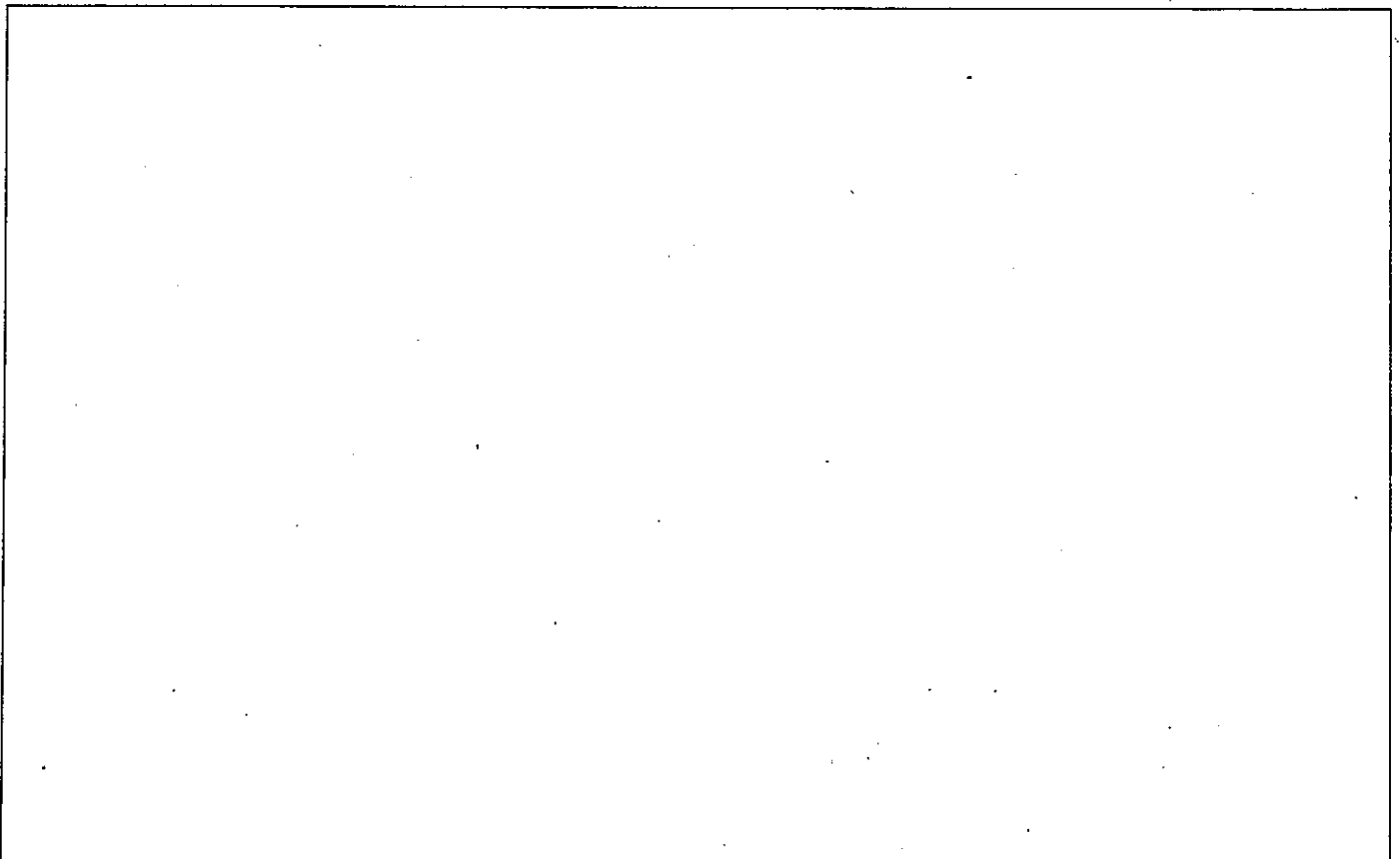
③すべてが出そろったら、感想を語り合う。

ポイント：どんな意見もポジティブに受け止め、応答的に語り合いを進める。

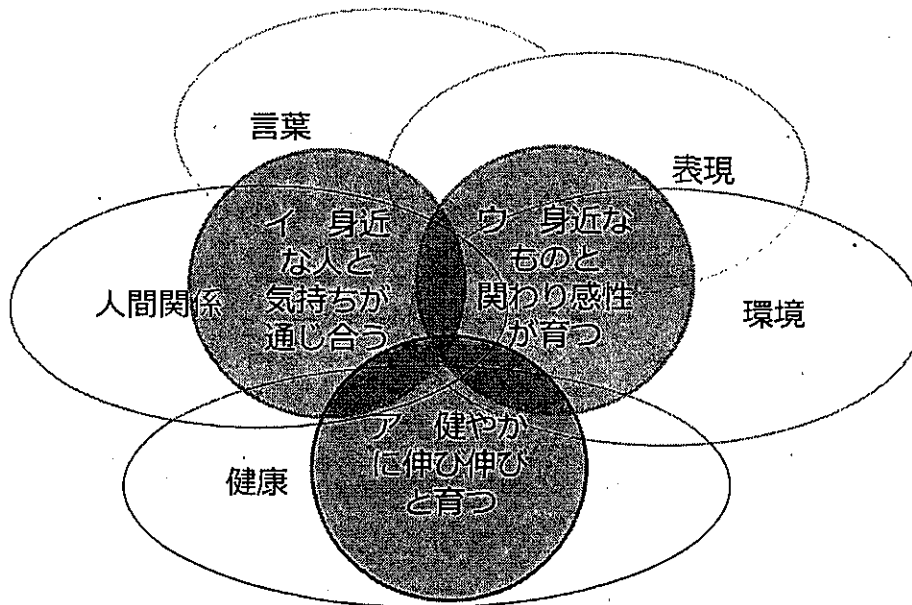
書き出すことを楽しみ、子どもの姿をたくさん思い出す。

分類する際には、「正解」にとらわれず、それぞれの捉え方や考えを活かして、視野を広げていくようにする。

© 2016 Hoiku-design inst



3視点・5領域
ワークシート



[ワーク] 1歳以上3歳未満児の日常の姿を 5つの領域でのぞいてみよう

目的：様々な人の意見を聞きながら、子どもたちの姿を改めて5つの領域でのぞいてみる。

準備：5～6人のグループになる。

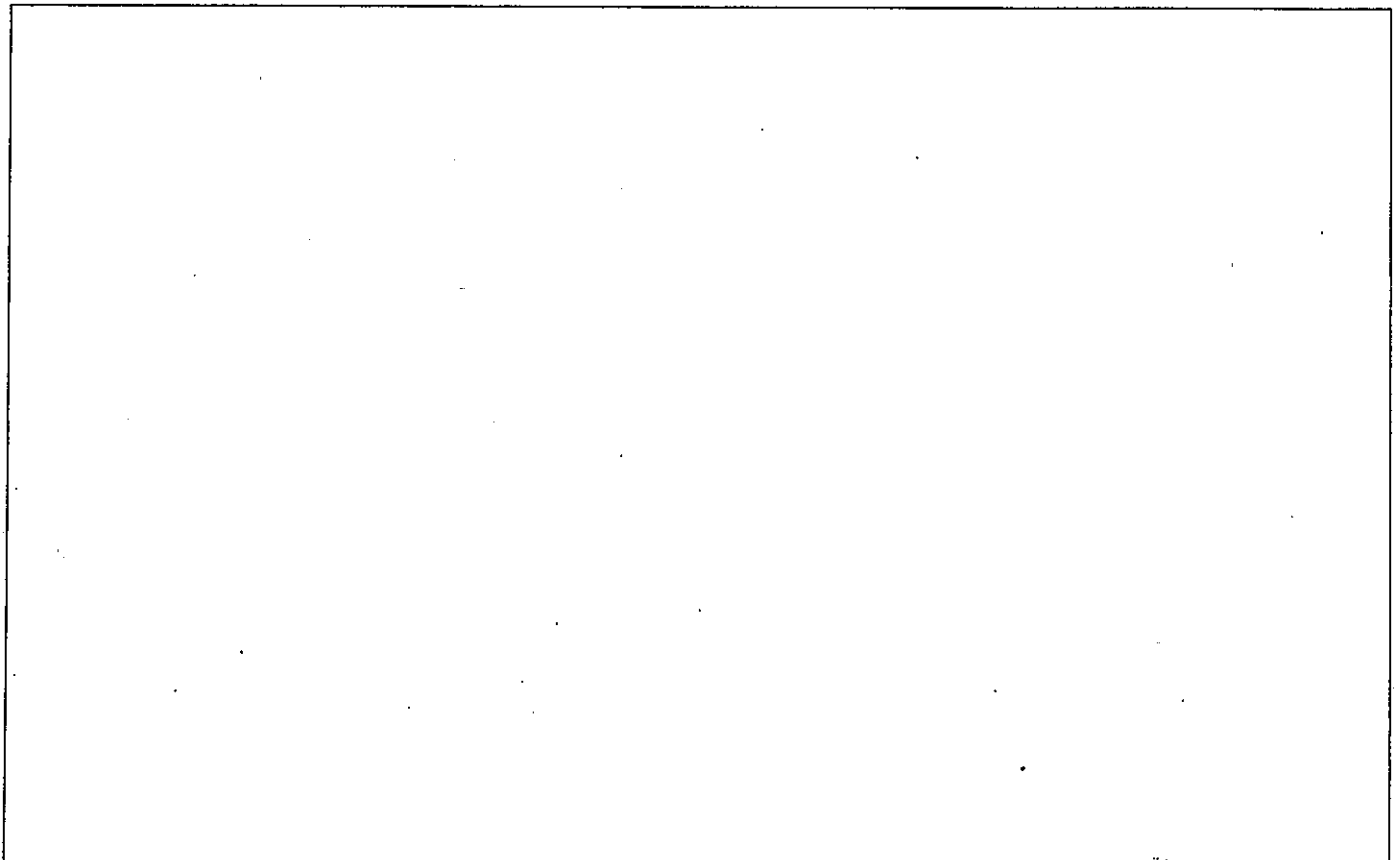
進行役を1人決める。

2cm幅の付箋を用意し、1人につき10枚程度を配布する。

各グループにつき、A3用紙に印刷したワークシートを1枚配布する。

(A3用紙に印刷できない場合は、大きい紙に書くなど、工夫する。)

© 2016 Hoiku-design inst



進め方

個人で書き出し	3分
出し合い・語り合い	12分

①〇〇を欲しがっている

〇〇に困惑している

〇〇を持って〇〇している等

具体的な子どもの姿を思い出して、付箋に書き出してみる。

②書き出したものを、1人1枚ずつ発表しながら、5領域のどこに当てはまるのかを考えて、貼り出してみる。

いくつかの領域にまたがる場合には、付箋に書き足す。

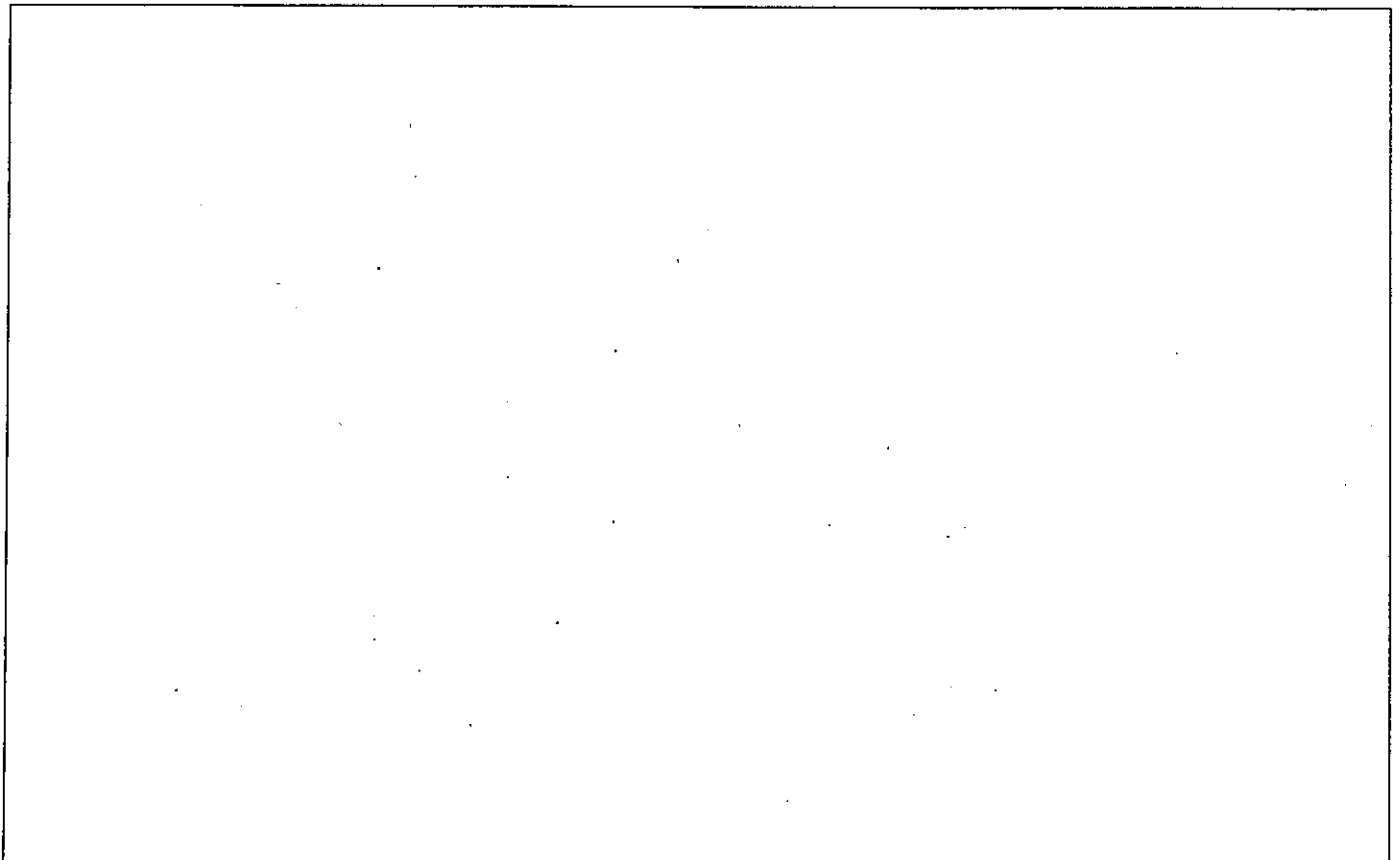
③すべてが出そろったら、感想を語り合う。

ポイント：どんな意見もポジティブに受け止め、応答的に語り合いを進める。

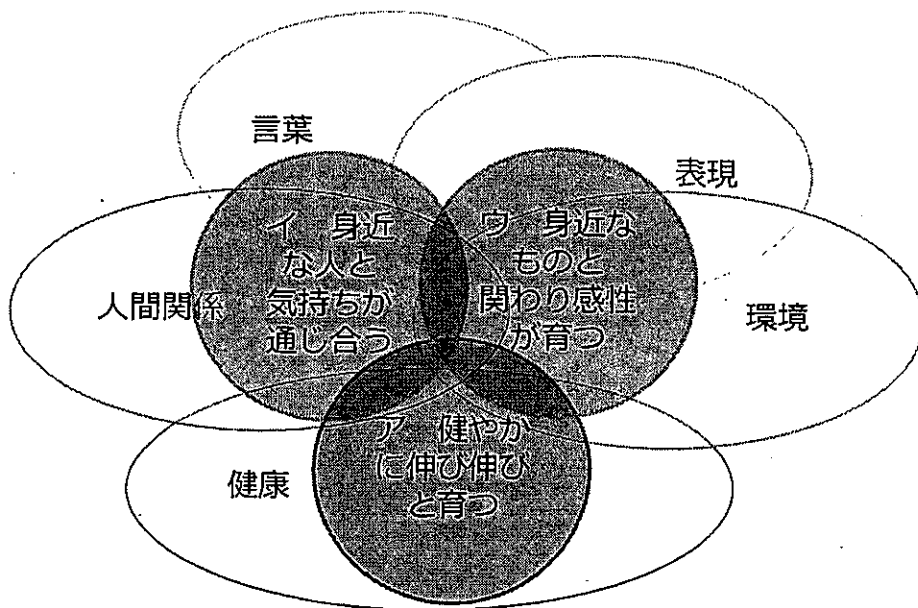
書き出すことを楽しみ、子どもの姿をたくさん思い出す。

分類する際には、「正解」にとらわれず、それぞれの捉え方や考えを活かして、視野を広げていくようにする。

© 2016 Hoiku-design inst



3視点・5領域
ワークシート



[ワーク]

4つの側面で捉えてみよう

ワーク時間 10分

準備 A3用紙1枚 付箋1人4枚

進め方

- ① 手押し車を押している1歳児の写真をよく見よう。
- ② 「存在感」「能動性」「相互性」「自我」の4つの側面にそってこの姿から感じられることを各自付箋に書き出してみよう。
- ③ A3用紙を4等分し、4つの側面に分類して貼りながら話し合おう。
- ④ それぞれの側面は何によって引き出されたか、話し合ってみよう。
- ⑤ (時間があったら) 日々接している子どもたちの姿を思い出し、4つの側面にとらえてみよう。

© 2016 Hoiku-design inst

[ワーク]

0歳児の保育室の写真を見て、大切にしたいことを見つけましょう。

ワーク時間	10分
-------	-----

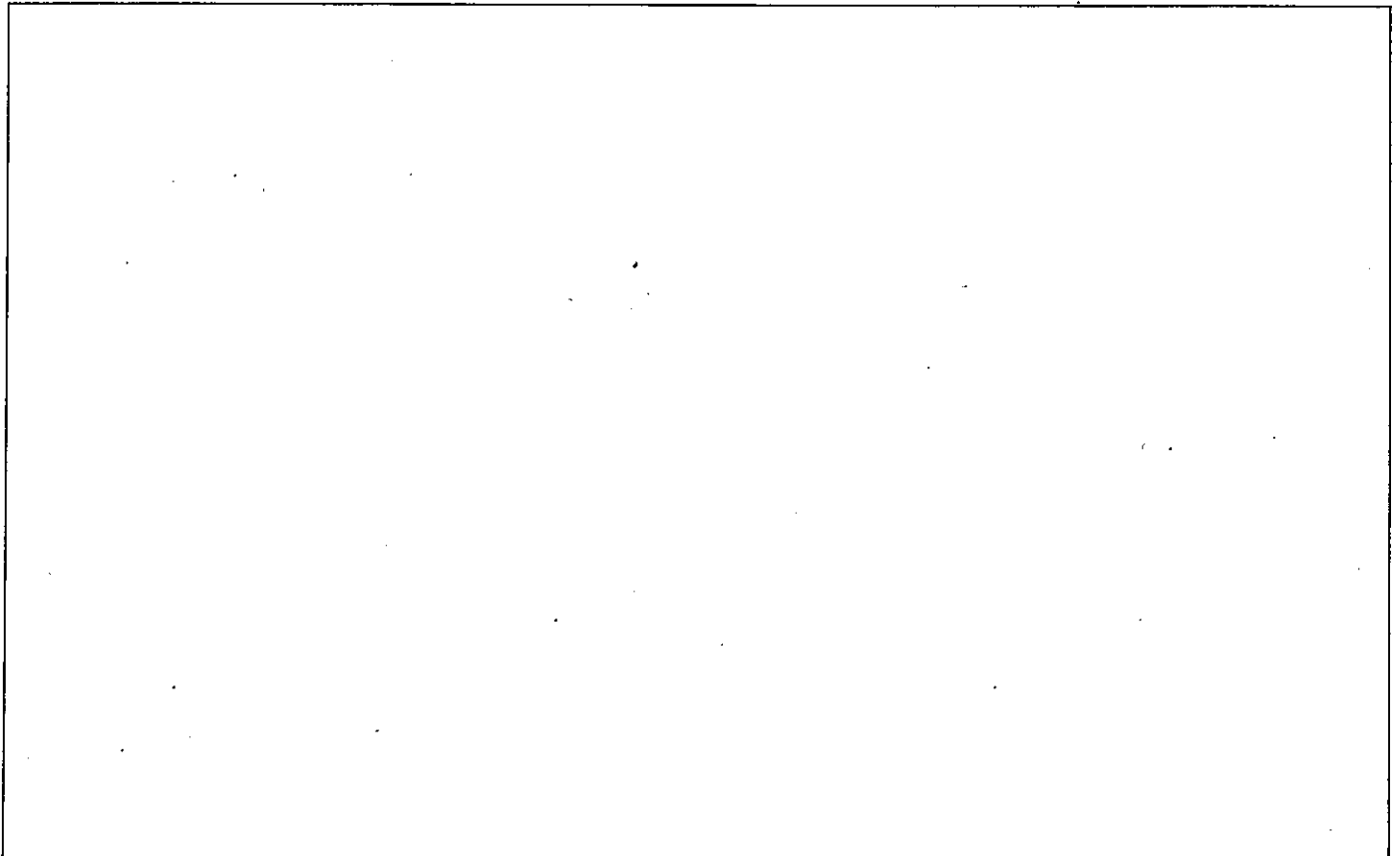
準備

2cm幅の付箋、1人10枚程度
グループ毎に、A4用紙1枚

進め方

- ①次のページの写真を見て、大切にしたいこと（場所・物・配置など）を付箋に書く。
- ②A4用紙に付箋を貼り意見を言う。
- ③自分がこの保育室にいたらやりたいことを考え、共有しよう。

© 2016 Hoiku-design inst



[ワーク] 保育室の環境を見直してみよう！

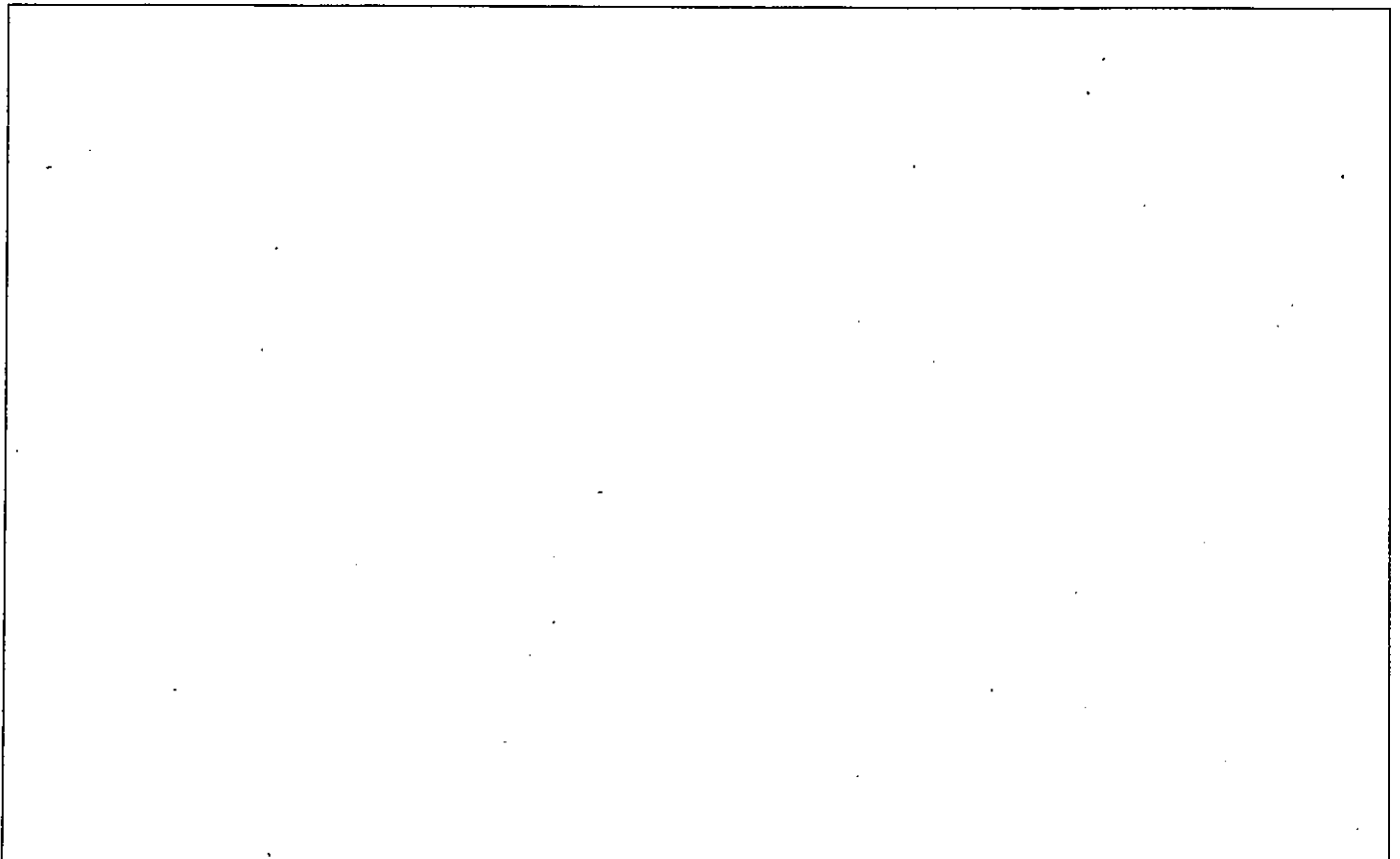
ワーク時間 10分

準備 付箋1人5枚程度

進め方

- ①次に映るスライドをよく見てみよう。
- ②「いいな」と思うモノや場を5つ見つけて、付箋に書こう。
- ③「いいな」と思ったことを紹介し合おう。
- ④すぐ真似できそうなことは何？いつかやってみたいことは何？
話し合みましょう。

© 2016 Holku-design inst



[ワーク]

感じたことについて語り合おう

準備 2cm幅の付箋、1人10枚程度
グループにつきA3用紙1枚

ワーク時間 10分

進め方

* 右の写真は11月、2歳児の散歩の様子。

- ① 保育者はなぜ、この道を選んだの？
- ② 子どもたちが感じていることは？
音・匂い・感触について付箋に書き出そう。
- ③ いつもの散歩コースの中に、
このような場所が見つかりますか？
- ④ いつもの散歩コースの魅力を書き出し、
それぞれA3用紙に貼り出し語り合おう。



© 2016 Hoiku-design inst

[ワーク]

一日の流れをよりよくするには？

準備

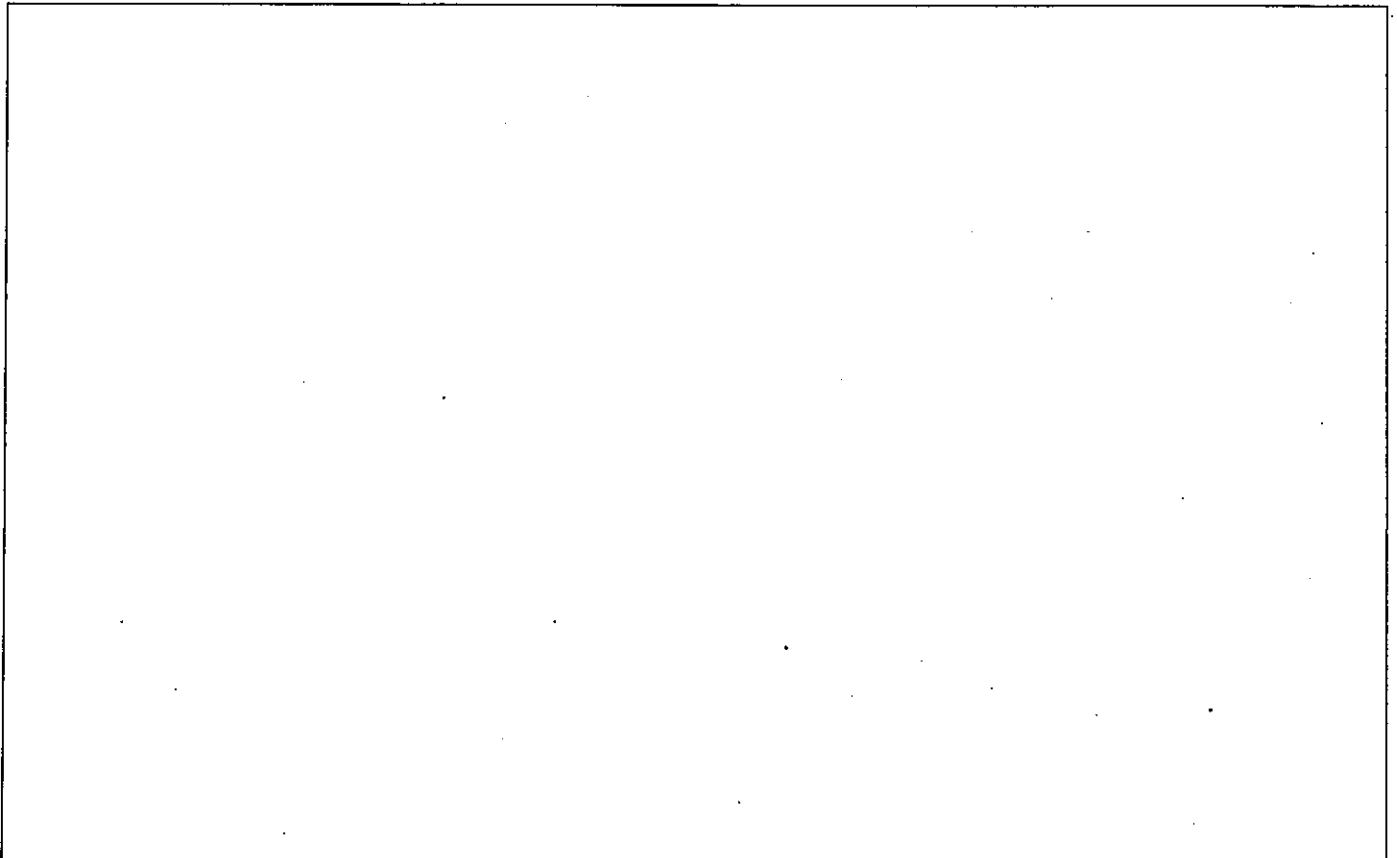
グループにつきA4用紙2枚、付箋1人5枚程度

ワーク時間 10分

進め方

- ①A4用紙に子ども目線であなたの園の一日を書き出してみましよう。
- ②どうもうまく流れていかないな、と思う部分がありますか？
あれば、そのことを付箋に書いてみましよう。
問題がない方は、うまく流れている要因について考えてみてください。
- ③②で書いたことを改善する、或いは発展させるとしたら？
新しいA4用紙にプランを書き出してみましよう。

© 2016 Holku-design inst



[ワーク]

普段よく食べるYちゃん（2歳）が、珍しく食事を食べようとしません。
その理由について考えてみよう。

ワーク時間	10分
-------	-----

準備

2cm幅の付箋 1人10枚程度

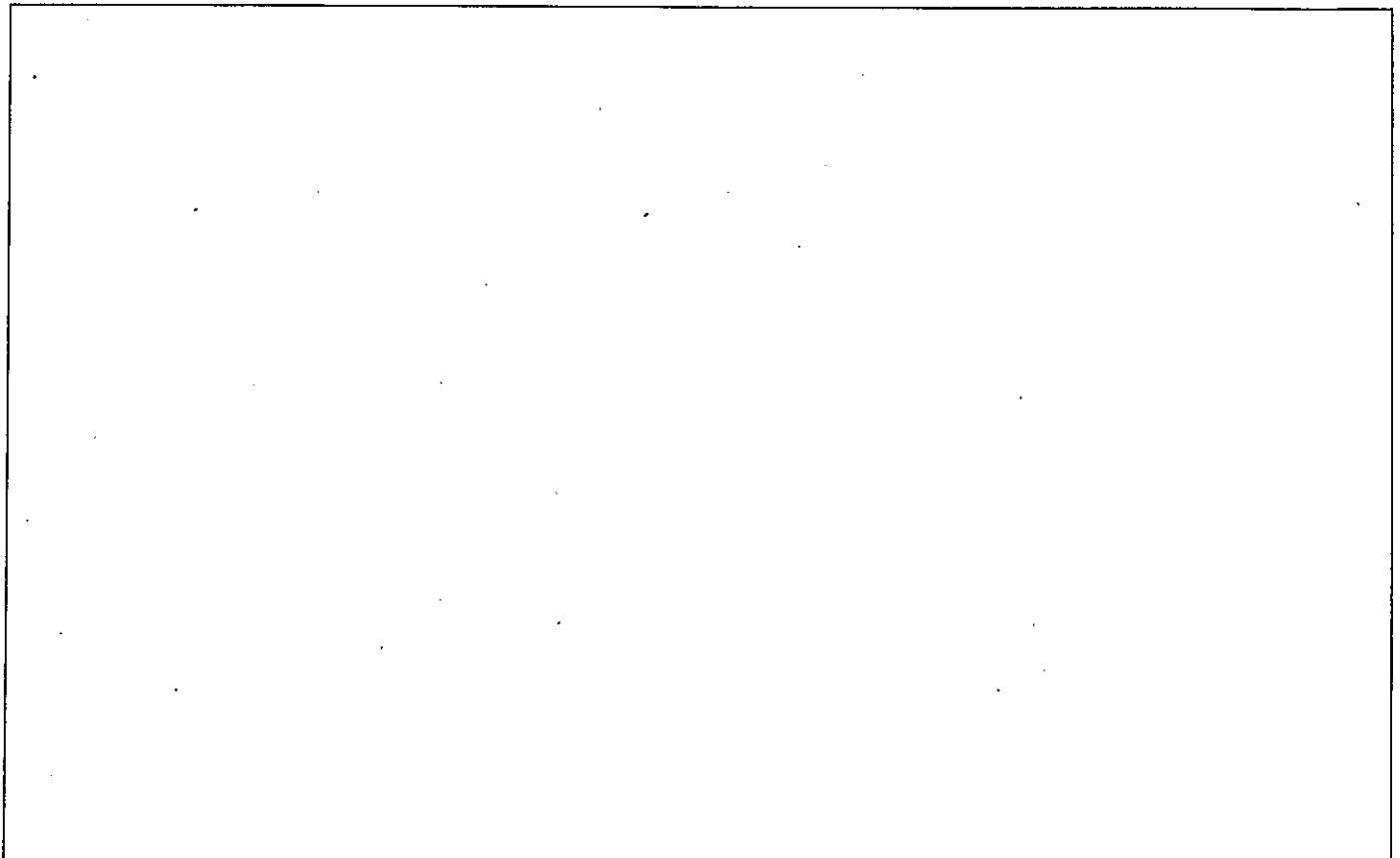
A3用紙 グループに1枚（なければA4用紙2枚）

カラーペン

進め方

- ①考えられる理由を付箋に書き出す（2分）
- ②A3用紙に貼り出しながら共有し、Yちゃんが食べようとしない理由について考え合う（5分）
- ③どのように対応したらよいか話し合い、カラーペンで書き込む（3分）

© 2016 Holku-design inst



[ワーク]

「子どもが泣いている時」の温かな関わりについて語り合おう

準備

ワーク時間	12分
-------	-----

2cm幅の付箋 1人10枚程度

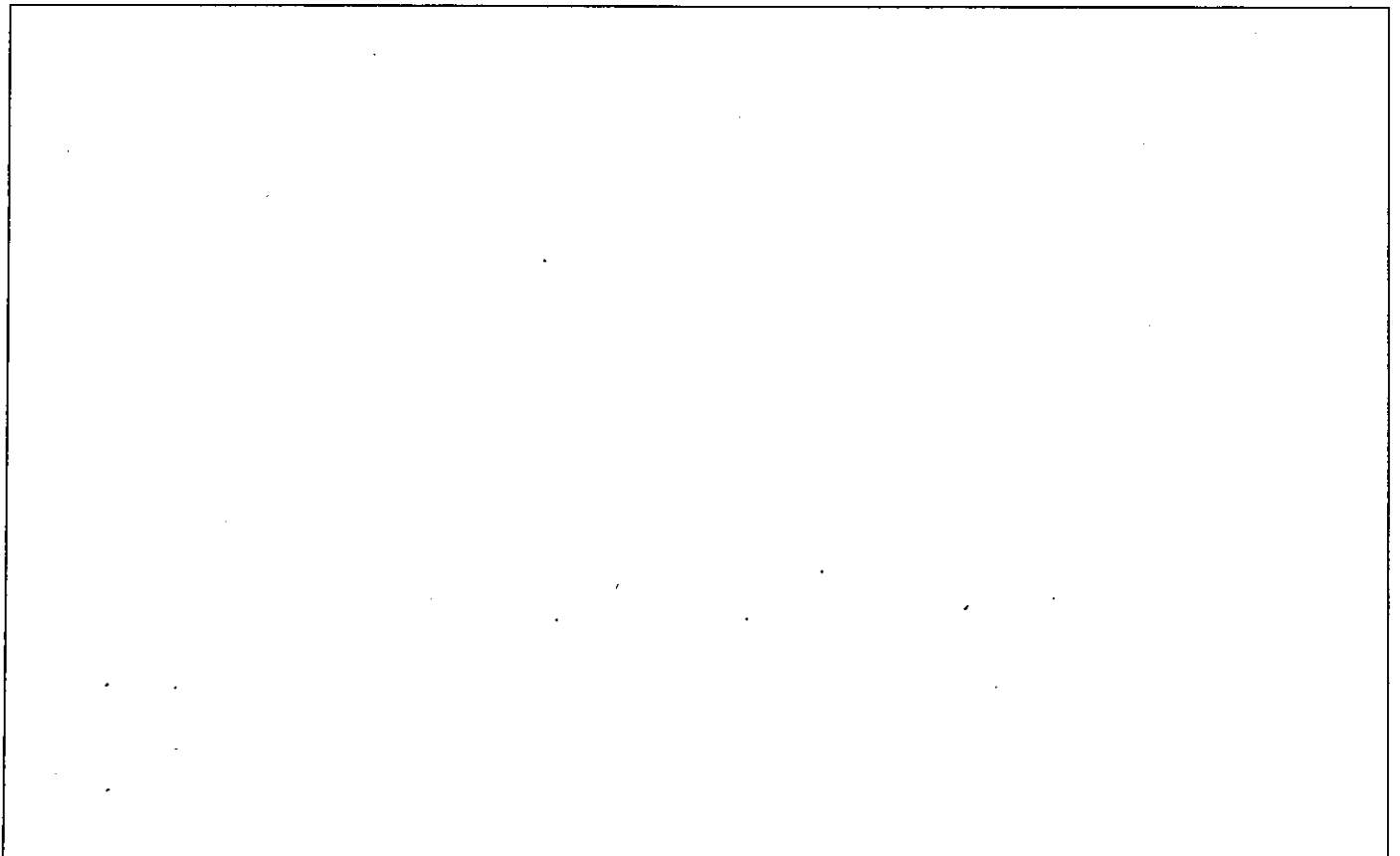
A4用紙 1人1枚

進め方

- ①各自、A4用紙に子どもが泣いている時のエピソードを書く。(3分)
- ②グループになり、エピソードを一つ選び、その泣いている子どもの気持ちや理由を考え、各自付箋に書き出す。(2分)
- ③具体的に子どもにかけられる言葉や対応について語り合う。(7分)

※肯定的な言葉で発言し合うように心掛けましょう。

© 2016 Hoiku-design inst



[ワーク]

「イヤ」「ダメ」という意味を考えてみよう

ワーク時間	12分
-------	-----

準備

2cm幅の付箋 1人10枚程度

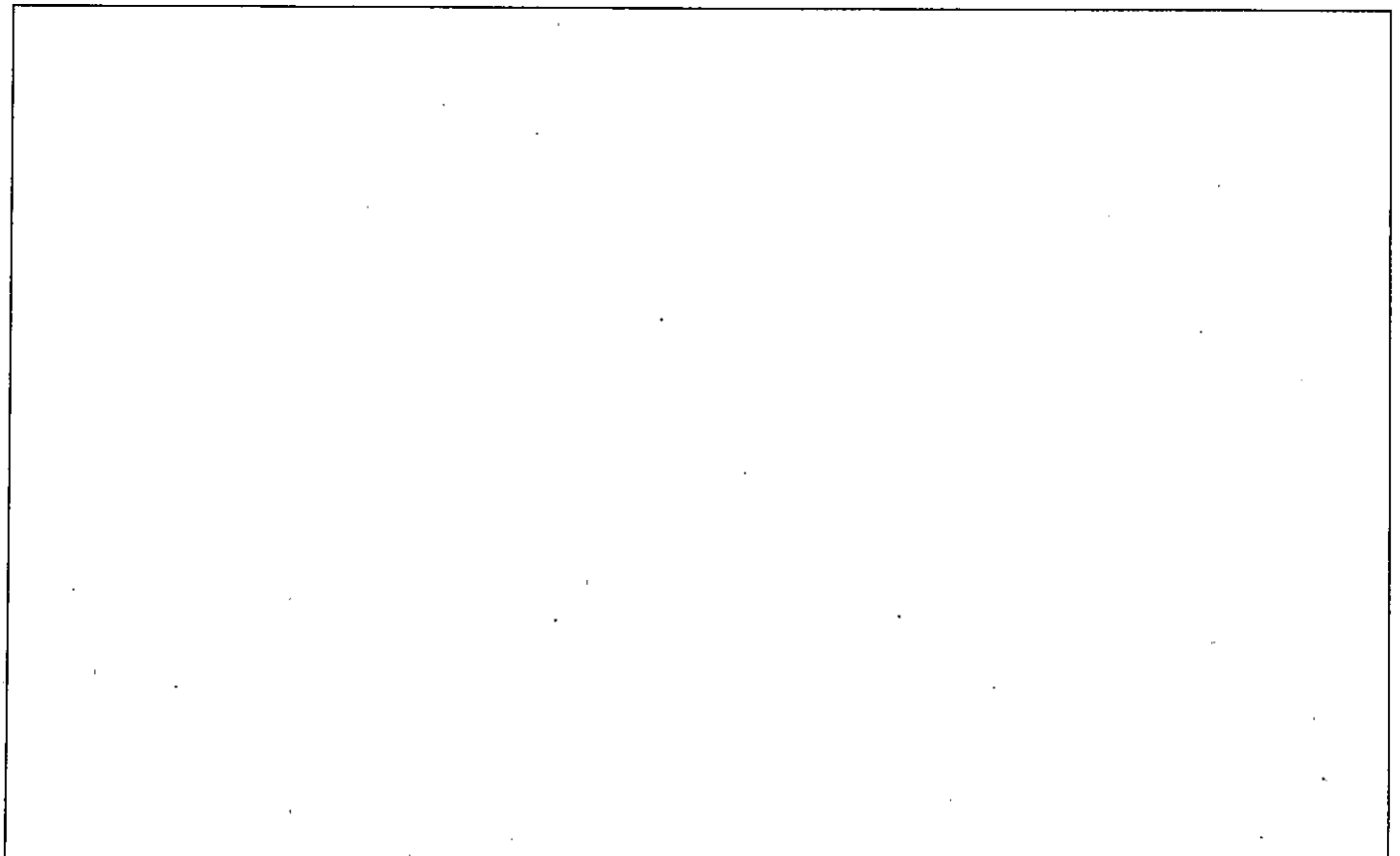
A3用紙グループに1枚

進め方

- ①子どもが「イヤ」「ダメ」を言った方がいいと思う場面を付箋に書く。(2分)
- ②A3用紙に貼り出し、皆でその理由を考え合う。(3分)
- ③具体的な子どもが「イヤ」「ダメ」を言ったエピソードを思い出し、保育者の関わりについて振り返る。(7分)

※肯定的な言葉で語り合きましょう。

© 2016 Hoiku-design Inst



[ワーク]

ケンカをして学ぶことができることについて語り合おう

ワーク時間 12分

準備

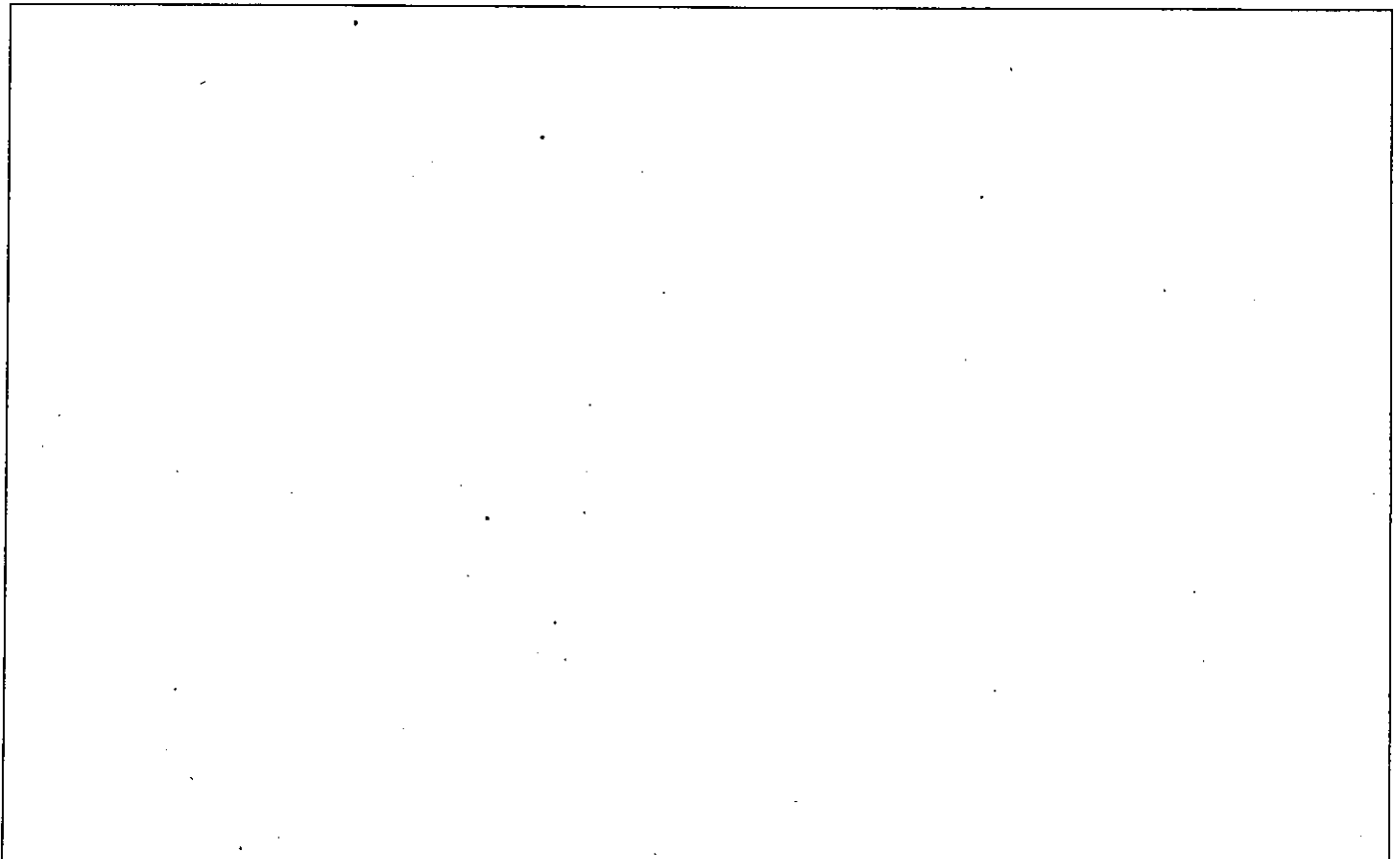
2cm幅の付箋、1人10枚程度

A4用紙 1人1枚

進め方

- ①子どものケンカをしたエピソードを思い出し、A4用紙に書く。(3分)
- ②双方の立場になって、ケンカを通して学んだと思われることを付箋に書いて貼る。(3分)
- ③各自のシートを読み合い、意見交換する。(6分)

© 2016 Hoiku-design Inst



[ワーク]

保育記録を読み、そこから3つの視点を見出す。

個人の作業 3分
グループでの話し合い 7分

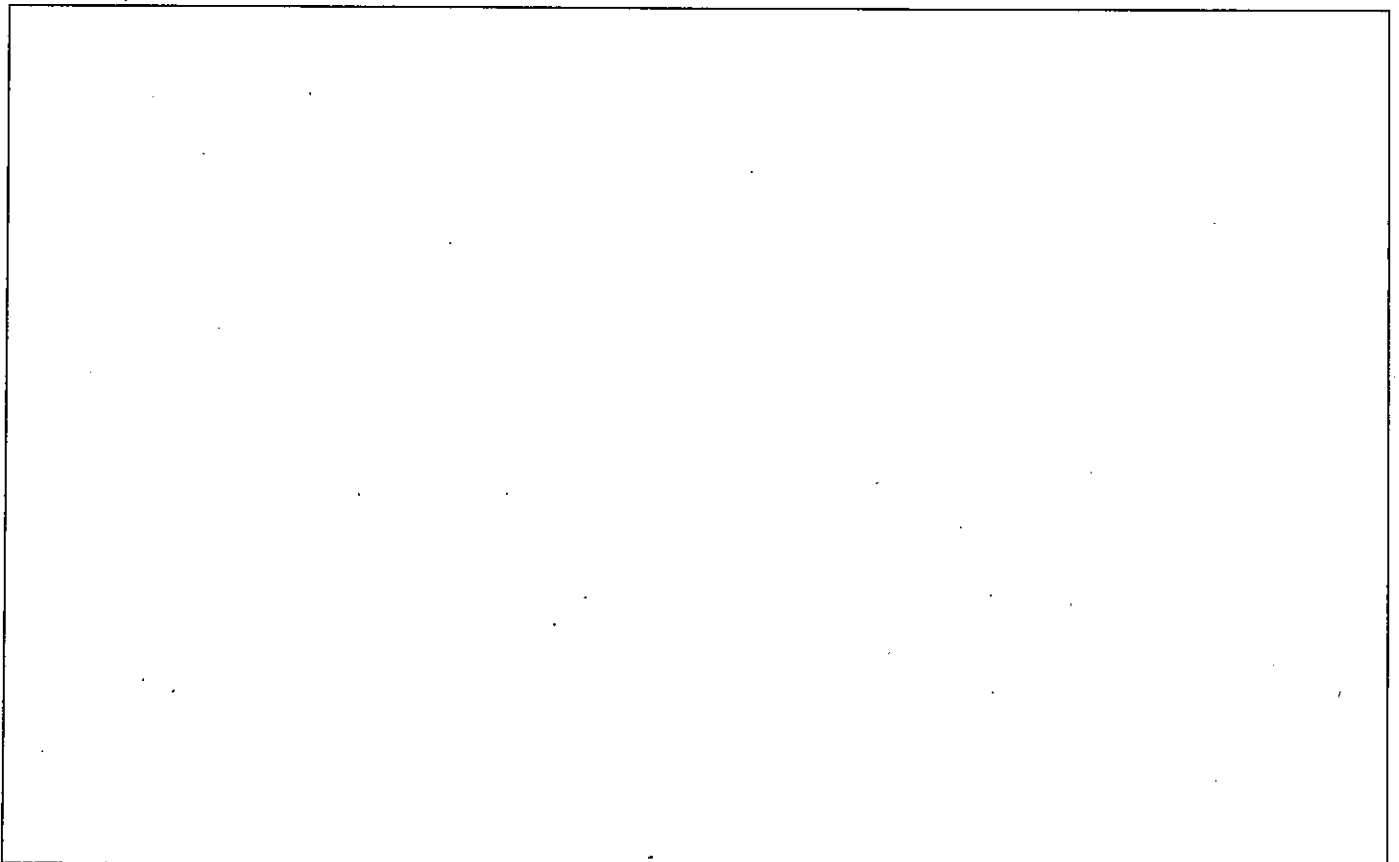
準備

例) 保育の記録・色鉛筆3色

進め方

- ①保育記録を読む。
- ②3つの視点を見出し、色分けする。
- ③グループで見せ合い、なぜそう考えたかを伝え合う。

© 2016 Hoiku-design inst



保育記録より

- Kは、はいはいで探索活動をする姿がよくみられるようになった。おもちゃの棚の前に行くと、ぽっとん穴落としを見つけ、取り出す。お座りの姿勢になり、タッパーの蓋を両手で開けて、ジャーと中身を出す。保育士の顔を見ると、「あー」と言って、タッパーを差し出す。「蓋を閉めてほしいのね」と言いながら保育士が対応すると、満足そうに笑う。指先が入るようになり、先日からぽっとん穴落としをよくやっている。真剣な表情で、タッパーの蓋から、木の棒を入れる。一つ入り、ポトンと音がするたびに、側で見守ってる保育士の顔を見て、上手上手というように両手をたたいて見せる。残りの木の棒を全部入れると、また蓋を開けて中身を取り出し、何度も繰り返す。

© 2016 Hoiku-design inst

[ワーク] 子どもの人権について

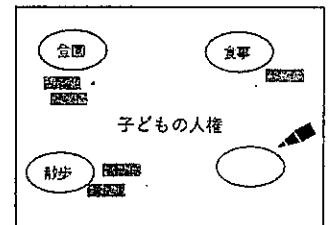
付箋に記入 5分
話し合い 10分

準備

例) 各自 5cm幅の付箋10枚程度 (2色: あれば水色と黄色)
グループにつき 模造紙1枚、マジックペン1本

進め方

- ① 3～4人のグループになる。
- ② 模造紙の真ん中に「子どもの人権」と書く。
- ③ 子どもが登園してから、帰るまでの生活や遊びをイメージしながら、人権に関すると思われる配慮事項を書いていく。それぞれ思いつくままに付箋に記入する。生活の配慮は水色、遊びは黄色の付箋に書く。
- ④ その後、項目ごとに整理して事例を出し合い、「その子どもにとって一番良いことは何か」という点について話し合う。



記入例

© 2016 Hoiku-design inst

[ワーク]

子どもの姿（写真）にタイトルをつける。

個人の作業（タイトルを考える） 2分
話し合い 8分

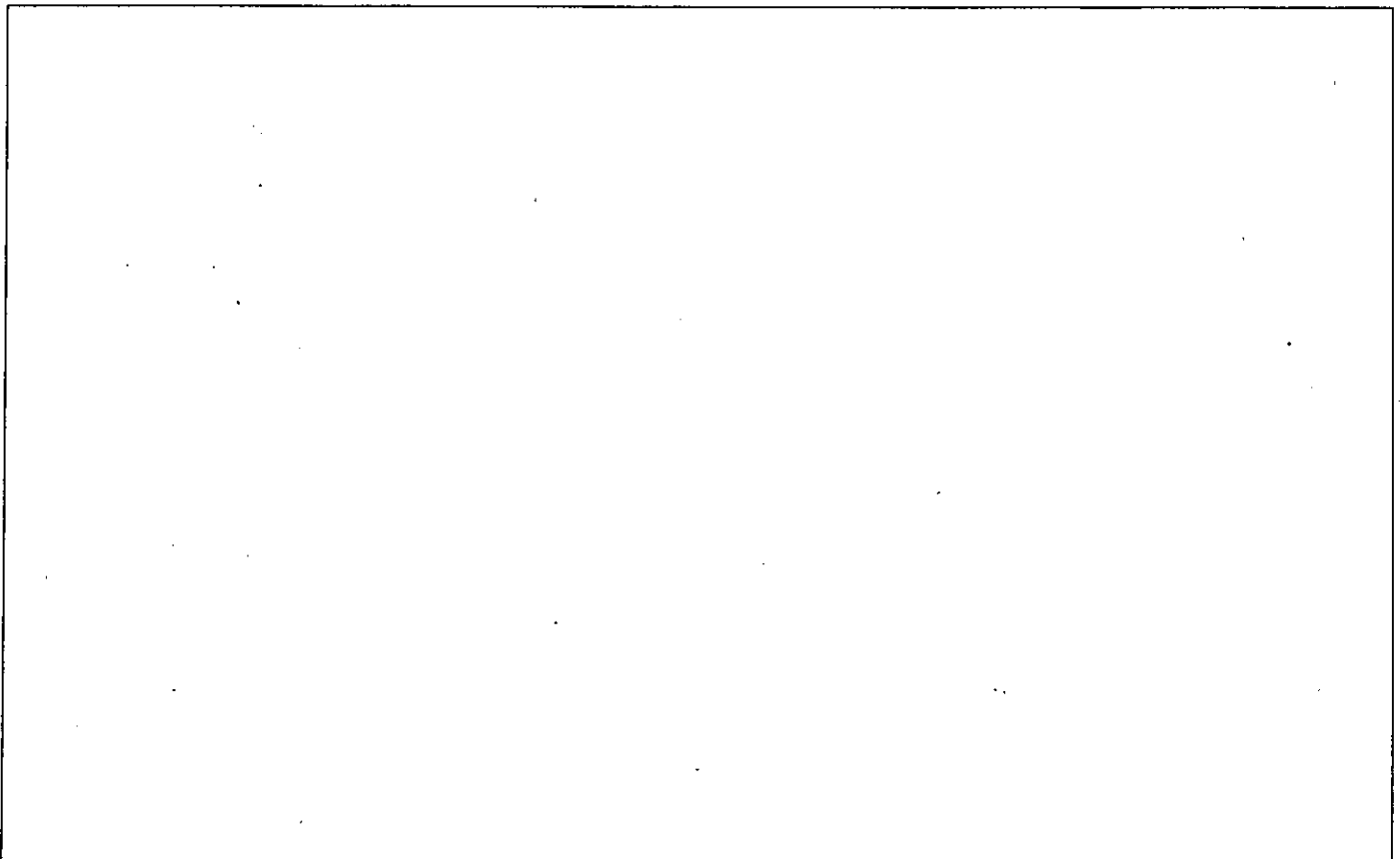
準備

- ・担当しているクラスの子どもが遊んでいる姿が写っている写真を1人1枚
（無い場合はこのレジュメの写真を使用しても良い）

進め方

- ①子どもの姿の写真を見て、その子どもが何をしたいのか、どのような能力が伸びようとしているのか考える。
- ②写真に適切なタイトルをつける。
- ③子どもの姿の捉えを、グループで共有し、意見交換をする。

© 2016 Hoiku-design inst



[ワーク]

活動、環境、保育者の配慮を考える。

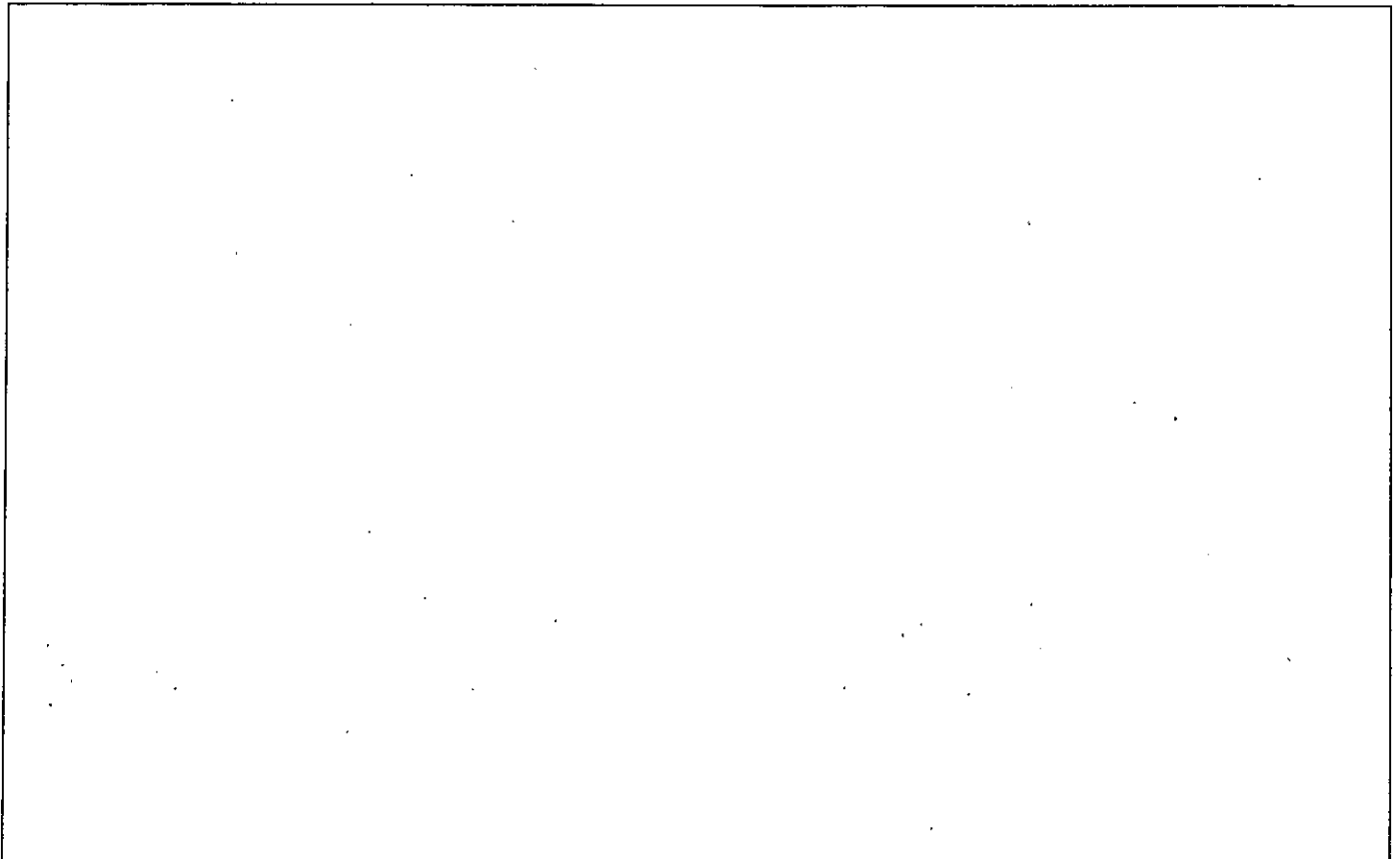
個人の作業 5分
話し合い 10分

準備 ・担当しているクラスの子どもが遊んでいる姿が
写っている写真1人1枚
(「子どもの姿から考える指導計画」で使用したもの)

進め方

- ①前回の講座で使用した写真を再度見て、その子どもにどのような経験が必要か、どのような環境が必要か、どのような保育者の配慮が必要か、を考えて余白に書き込んでいく。
- ②必要な経験、環境、保育者の配慮をグループで共有し、意見交換する。

© 2016 Holku-design inst



[ワーク]

自園での異年齢活動（生活や遊び）のシーンを思い浮かべ、そこにどのような育ちがあったか考えてみましょう。

準備

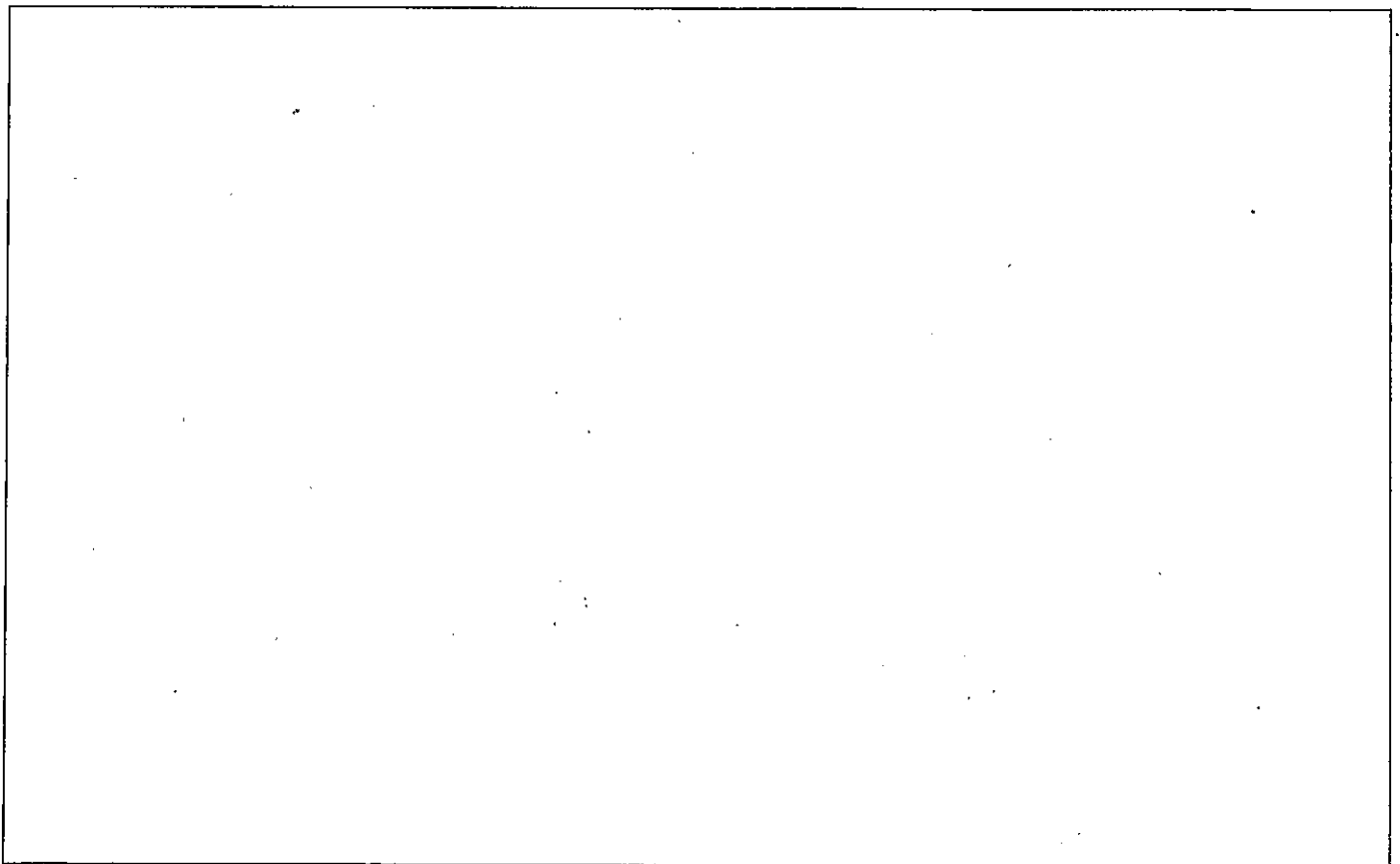
- 7.5cm角の付箋、1人3枚程度
- A4用紙 各グループに3枚
- 4～5人のグループを作る

ワーク時間	
付箋記入	5分
貼り出し	8分

進め方

- ①遊び、食事、散歩等、異年齢で活動したシーンを思い浮かべ、年齢毎に1人ずつ計3人の子どもの言動を付箋の上半分に1つずつ記入する。
- ②4ページの視点で考え、子ども達にどのような育ちがあったか想像して、①の付箋の下半分に記入する。
- ③A4用紙に0歳児、1歳児、2歳児と記し、各自発表しながら付箋を貼り出していく。
(1、2歳児での活動の場合は、付箋は2枚、用紙も2枚でよい)

© 2016 Hoiku-design inst



[ワーク]

「自園の食事シーン」を振り返り、工夫しているところやもう少し改善が必要と思われるところを出し合ってみよう。

準備

2cm幅の付箋、ひとり8枚程度

A4用紙 各グループに2枚

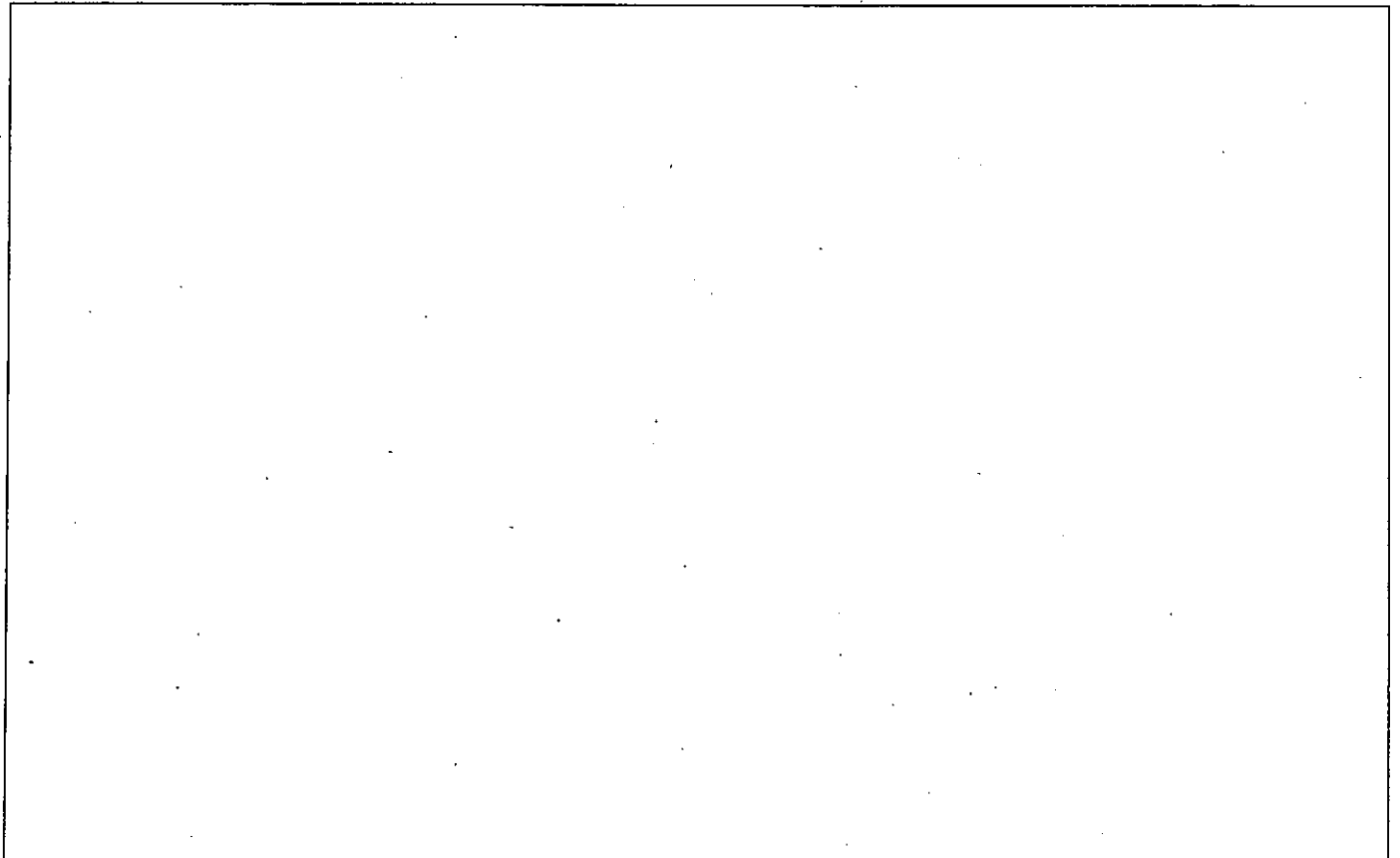
4～5人のグループをつくる

ワーク時間	
記入	8分
貼り出し	5分

進め方

- ①工夫しているところを付箋に記入
- ②もう少し改善が必要と思われるところを付箋に記入
- ③A4用紙の一枚には、「工夫しているところ」もう一枚には「もう少し改善が必要と思われるところ」と記し、各自発表しながら貼り出す。

© 2016 Hoiku-design inst



[遊びを豊かに①②のワーク]

異年齢合同の遊びの中で各年齢の子ども達にどのような学びや育ちがあったか考えてみましょう（室内・戸外どちらでも）

準備

- 7.5cm幅の付箋、1人3枚程度
- 4～5人のグループを作る
- A4用紙 各グループに3枚

ワーク時間	
記入	5分
貼り出し	5分

進め方

- ①最近行った異年齢合同のあそびのシーンを思い浮かべ、各年齢毎に1人ずつ計3人の子どもの言動を付箋の上半分に1つずつ記入する。
- ②子ども達にどのような学びや育ちがあったか想像して、①の付箋の下半分に記入する。
- ③A4用紙に0歳児、1歳児、2歳児と記し、各自発表しながら付箋を貼り出していく。
(1、2歳児での活動の場合は、付箋は2枚、用紙も2枚でよい)

© 2016 Haiku-design inst

